

平成24年度事業報告

我が国では、平成24年末の新政権発足後、景気の改善を示す動きもみられておりますが、それまでの歴史的な円高やデフレにより、依然として厳しい経済・雇用情勢が続いており、平成21年度から始まった緊急雇用対策も継続して実施されています。また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災は甚大な被害をもたらし、現在も復旧・復興に向けた取り組みが実施されています。一方、地域社会や家庭のあり様が大きく変化し、人と人とのつながりが希薄になり、家庭や地域での助け合い、支え合う機能が低下し、高齢者や児童への虐待、孤立死、引きこもりなどといった深刻な課題が生じております。

このような情勢の中、生活困窮状態にある離職者等への生活支援対策、将来の成長分野として期待される福祉・介護分野の雇用確保対策など、社会福祉協議会（以下「社協」という。）の役割がますます高まり、その期待に応えていくことが求められております。また、行政や地域住民、さらにボランティアグループ、NPOなどと協働して地域社会で支えていく仕組みを作っていくことが重要となっております。

このため、本会の事業指針である「地域福祉活動推進プラン」に基づき、県や市町村、市町村社協をはじめ、社会福祉施設、社会福祉団体等と連携・協力を図りながら、本会の目標である県民参加と協働による「誰もが その人らしく 安心して暮らせる福祉社会の実現」をめざして、各種事業を推進いたしました。

具体的には、東日本大震災を教訓とした災害時ボランティア支援体制の整備推進、福祉・介護人材の育成・確保を図る研修・雇用一体型の事業や求職者と求人者のマッチングを進める事業、また、離職者や生活困窮者等の自立を支援する生活福祉資金の貸付、さらには、住民主体の地域づくりの拠点としての多様なサロン活動の普及促進、ボランティア・市民活動の支援、高齢者の健康・生きがいづくりの支援を実施してきたほか、利用者本位の福祉サービスの提供を図る日常生活自立支援事業、苦情解決事業、外部評価事業を実施するなど、各種事業に積極的に取り組みました。

1 支え合う福祉（住民参加と福祉コミュニティづくりの推進）

（1）住民参加によるまちづくりの支援

① 市町村社協への支援

市町村社協を支援するために、トップセミナー、経理担当職員、地域福祉活動計画担当者、支え合いマップづくりセミナー、地域福祉コーディネーターなどの研修会（参加者合計532人）を開催し、市町村社協職員の専門性の向上を図った。

② はんどちゃんネットワーク運動の推進

住民が支え合い、安心して暮らすことができるまちづくりを進めるために、地域福祉活動の拠点としてのサロンの普及・支援を「はんどちゃんネットワーク運動」として推進するとともに、ふれあい・いきいきサロン実態調査の実施、福祉コミュニティづくり推進のつどい（参加者378人）の開催やサロン拡充支援のための事業費助成（29団体）、サロン活動実践事例集の発行、広報媒体を活用したサロンの広報・啓発を推進した。

③ 福祉教育・学習の推進

地域社会、学校及び家庭が連携して子どものときから福祉の心を育む「福祉教育協力学区指定事業」を4市町村社協で実施するとともに、福祉教育に関心のある県民や教育・行政・市町村社協関係者等91人の参加により、福祉教育研究セミナーを開催し、地域での福祉教育を推進した。

また、福祉教育に関わる学識者や福祉関係者等で構成する「志民の学び縁卓会議」を開催し、今後の福祉教育のあり方について研究協議した。

(2) ボランティア・市民活動への支援

① ボランティア・市民活動への参加促進

住みやすい地域づくりに向けてのボランティア・市民活動の振興を図るため、県ボランティア活動研究集会（参加者668人）やボランティア担当職員・コーディネーター研修会（延べ参加者65人）を開催し、活動への参加促進に努めた。

また、ボランティア活動・市民活動の抱える課題の一つである活動資金をテーマに「そこが知りたい助成金！～助成金制度活用のコツを学ぼう！～」（参加者84人）をボランティア・市民活動シンポジウムとして開催し、地域福祉活動のさらなる充実を図ることに努めた。

② 災害時に対応した支援体制の整備

災害発生後の福祉救援・ボランティア活動が迅速かつ円滑に実施できるよう、県民を対象とした防災ボランティア養成研修会を、講義や被災地での実地体験を通して実施し、防災に関する人材の養成に努めるとともに、災害時に対応した支援体制の整備を推進した。

(3) はつらつと社会参加できる環境づくり

① 全国健康福祉祭選手等派遣事業

明るく活力ある長寿社会を築くため、高齢者を中心とするスポーツ・文化・芸術の総合的な祭典である「第25回全国健康福祉祭宮城・仙台大会」へ選手団（監督・選手・役員等136人）を派遣するとともに、美術展に作品を出展（11点）し、スポーツ・文化・芸術活動を通じた高齢者の社会参加、健康・生きがいを高揚・増進した。

② 元気シニア地域貢献事業

様々な特技を持った茨城シニアマスターを登録（登録143団体・個人）、地域活動に活用（324件）し引き続き地域の活性化を図るとともに、セカンドライフ特派員による情報提供やセカンドライフに関する相談を通して、高齢者のボランティア活動等への参加を支援した。

③ 茨城県健康福祉祭（県版ねんりんピック）開催事業

「第26回全国健康福祉祭こうち大会（ねんりんピックよさこい高知2013）」の予選

会を兼ねたグラウンド・ゴルフなどを含む5種目の競技について、各市町村の代表選手（チーム）が集う「いばらきねりんスポーツ大会」を開催（参加者約1,450人）し、高齢者の生きがいと健康づくりを推進した。

また、高齢者の芸術・創作活動を促進するため、絵画、写真等の入選作品を展示する「わくわく美術展」（申込741点、展示725点）、及び小学校等の児童を対象に、お年寄りがいきいきとしている姿や子ども達と交流している姿などの絵を募集し、優秀作品を展示、顕彰する「ぼく☆わたしのおじいちゃん☆おばあちゃんの絵コンクール」（応募4,313点、展示40点）を同時に開催（入場者3,228人）し、高齢者の生きがいの高揚・増進と世代間の交流を深めた。

④ わくわく元気アップ講座開催事業

シニア世代を対象として、健康・生きがい・仲間づくりをテーマに、総合講座（10回）と選択講座（絵画造形・園芸）（各11回）を組み合わせた「わくわく元気アップ講座」を開催（68人受講）し、生涯学習活動を通じたシニア世代の社会参加や仲間づくりを促進した。

2 安心して利用できる福祉（福祉サービス利用者への支援）

（1）日常生活自立支援事業の充実

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など、判断能力の不十分な方に対する福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理等の支援を、市町村社協と連携して、667人の利用者の支援を行うとともに広報・周知にも努めた。

（2）苦情解決事業の推進

福祉サービスに関する利用者等からの苦情を適切に解決するとともに、日常生活自立支援事業の適正な運営を確保するため、運営適正化委員会において苦情相談（84件）に関する助言及び調整、日常生活自立支援事業の契約内容の審議や11基幹的社協（日立市・石岡市・常陸太田市・高萩市・北茨城市・つくば市・かすみがうら市・つくばみらい市・東海村・美浦村・阿見町）に対する事業実施状況調査（訪問調査）並びに44基幹社協に対する事業実施状況調査（書面調査）を行った。

また、事業所における苦情解決体制の整備状況に関する実態調査のため、巡回指導（3事業所）を実施し、体制の整備促進に努めた。

（3）第三者評価事業及び外部評価事業の推進

福祉サービス第三者評価、小規模多機能型居宅介護事業所及び認知症高齢者グループホーム外部評価の評価機関として、契約事業者に対し評価を実施した。

- ・認知症高齢者グループホーム外部評価受審事業所：127事業所
- ・指定小規模多機能型居宅介護外部評価受審事業所：20事業所

(4) 効果的な情報発信と提供

電話や来所などにおいて、社会福祉全般にわたる相談を受ける「福祉相談」として 2,925 件の相談に応じることにより、県民生活の支援に努めた。

なお、ホームページで迅速に福祉情報を提供することで、県民への福祉の理解と啓発に努めた。

(5) 低所得世帯等の自立支援

低所得者、障害者、高齢者世帯等に対し、生活福祉資金及び臨時特例つなぎ資金の貸付けを通じて、経済的自立と生活意欲の助長や在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活が送れるよう支援した。

なお、貸付基準の見直しを行い、市町村社協や民生委員を通じて貸付制度の周知を図るなど広報活動に努め、生活福祉資金として 121 件の貸付を行った。

また、債権管理専門員を配置し、債務者に電話連絡を行う等償還指導にも努め、債権管理強化月間においては、適切な債権管理を行うため 25 市町村で償還相談会を実施した。

3 質の高い福祉と協働する福祉（社会福祉事業の充実・活性化への支援）

(1) 福祉人材の確保と就労の促進

① 福祉人材無料職業紹介事業の実施

社会福祉事業所への就職希望者に対し、社会福祉法人等からの求人情報を提供するとともに、就業の相談や就職支援に努めたところ、事業所への紹介件数は 282 件で就職採用件数は 158 件であった。

また、「福祉の就職総合フェア 2012～就職相談会～」を水戸会場と土浦会場で開催したところ、求人ブース 123 ヶ所に対し、求職者 156 人が参加して直接相談・面談を行うなど、福祉人材の確保と就職活動を支援した。

さらに、社会福祉を担う青少年や県民を対象に、福祉に対する理解と関心を高めるため「福祉職場 2012 フェスティバル」を開催したところ、約 500 人の参加があった。

② 介護支援専門員実務研修受講試験・実務研修及び更新・再研修の実施

介護保険制度における介護サービス機能の中核的役割を果たす介護支援専門員の養成・確保を図るため、介護支援専門員実務研修受講試験（受験者 3,114 人）の合格者（558 人）、及び昨年度の延期者等を対象とした、介護支援専門員実務研修を 6 コース、延べ 37 日間実施したところ、553 人が受講修了した。

また、介護支援専門員として登録後実務に従事した経験のない方や、実務経験はあるが更新手続きを行わなかった方等を対象に、更新・再研修を実施したところ、147 人が受講修了した。

(2) 福祉・介護人材確保のための緊急支援

我が国の雇用情勢は非常に厳しい状況にあることから、新たに失業者などを対象に、雇用や就職の機会を創出するため、福祉・介護人材の確保・定着に向けた緊急雇用対策事

業として、「福祉・介護職員確保特別対策事業」及び「潜在的有資格者等再就業促進事業」、「福祉・介護人材キャリアパス支援事業コーディネート業務」、「福祉・介護マッチング機能強化事業」並びに、「福祉・介護人材確保対策連携強化事業」を実施した。

福祉・介護職員確保特別対策事業では、365人の雇用を図ることができ、職場体験事業では103人（延べ212日）の方が参加し福祉施設等で体験を行った。

続いて、福祉・介護マッチング支援事業では、求職者にふさわしい職場を支援するためのキャリア支援専門員を6人配置するとともに、就職支援のための「就職面接会」を土浦・日立・筑西・つくば・水戸で5回（求人ブース合計143ヶ所・求職者合計191人）開催し、また千葉県と合同で「ちば・いばらき福祉の就職説明会 in えどせん（求人ブース合計51ヶ所、求職者合計156人）」を開催、福祉人材確保及び就職支援を行った。

また、同事業で求職・求人の相談の場として、「出張就職相談会」を結城、北茨城、常陸大宮、つくばみらい、小美玉（美野里）、小美玉（玉里）、阿見、鉾田8会場で（延べ59回、相談件数149件）実施し、求職者・求人事業所の個別の相談支援を行った。

（3）福祉人材の養成と質の向上

社会福祉事業従事者の専門性の確保と資質の向上を図るため、社会福祉施設及び市町村社協の役職員を対象として、社会福祉事業従事者に必要な知識・技術及び倫理の習得等をめざし研修を実施した。

一般研修（階層別研修を含む）11コース、専門研修11コース、特別研修3コース、公開講座1コースの併せて26コース・延べ58日間実施し、3,607人が受講した。

（4）社会福祉施設地域貢献活動支援事業

市町村社会福祉協議会に助成金を交付し、市町村内の福祉施設における地域貢献活動の促進を図った。

平成24年度は、新たに笠間市社会福祉協議会、常総市社会福祉協議会、坂東市社会福祉協議会を指定するとともに、昨年度からの結城市社会福祉協議会、古河市社会福祉協議会、鉾田市社会福祉協議会の3社協を合わせた6社協を通じ、地域貢献活動の啓発や福祉施設の連携を図るための合同福祉まつり等を実施した。

（5）民間社会福祉施設職員等退職手当支給事業の運営

民間社会福祉施設職員に対する福利厚生の一環として、退職手当支給制度を運営しており、契約加入状況は789施設で11,376人となっている。

一方、民間社会福祉施設等職員の退職者1,190人に対して退職手当金を支給するとともに、より安全で安定的な運営と適切な資産の運用管理を行った。

4 きり開く福祉（新たな課題への対応）

（1）事業所内保育促進事業

介護福祉施設に就業する職員の子育てを支援し、就業定着率の向上を図るため、「介護

福祉施設における事業所内保育施設研修会」を開催し、取り組みの周知を図った。
また、事業所内保育促進事業費助成金を創設し、取り組みを促進した。

（２）新たな生活ニーズへの支援

各関係機関が行うキャンペーン等に参加・協力を行った。

広報誌「いばらきの社会福祉」に、消費生活センターの悪質商法関連記事を掲載し、予防啓発を行った。また、本会ホームページと消費生活センターのホームページをリンクし、予防啓発を行った。

５ 前進する県社協（県社協の組織の充実）

（１）法人組織の充実と事務局体制の整備

地域福祉活動推進プランの推進期間が最終年度にあたる平成 24 年度は、全職員合意による策定の検討さらには全体研修等を行い、職員間の共通認識を図りながら新プランの策定検討を行った。また、平成 25 年度は、県の地域福祉支援計画との整合性を図りながら引き続き新プランの策定を行う。

1 会務の運営

(1) 理事会及び監査並びに評議員会

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 5. 10	監 査	- 平成 23 年度事業報告について - 平成 23 年度一般・公益・その他の特別会計収入支出決算について	県総合福祉会館	14 人
24. 5. 25	第 1 回理事会	- 平成 23 年度事業報告について - 平成 23 年度一般・公益・その他の特別会計収入支出決算について	県総合福祉会館	28 人
24. 5. 25	第 1 回評議員会	- 平成 23 年度事業報告について - 平成 23 年度一般・公益・その他の特別会計収入支出決算について - 理事及び監事の選任について	県総合福祉会館	46 人
24. 6. 13	第 2 回理事会	会長・副会長の選任について	水戸プラザホテル	30 人
25. 1. 29	第 3 回理事会	- 平成 24 年度一般・公益・その他の特別会計収入支出補正予算について - 評議員の委嘱について	ホテルレイクビュー水戸	30 人
25. 1. 29	第 2 回評議員会	平成 24 年度一般・公益・その他の特別会計収入支出補正予算について	ホテルレイクビュー水戸	48 人
25. 3. 26	第 4 回理事会	- 平成 25 年度事業計画について - 平成 25 年度一般・公益・その他の特別会計収入支出予算について - 社会福祉法人茨城県社会福祉協議会定款の一部改正について - 社会福祉法人茨城県社会福祉協議会諸規程の改正について	県総合福祉会館	29 人
25. 3. 26	第 3 回評議員会	- 平成 25 年度事業計画について - 平成 25 年度一般・公益・その他の特別会計収入支出予算について - 社会福祉法人茨城県社会福祉協議会定款の一部改正について - 理事の選任について	県総合福祉会館	45 人

2 委員会の開催

(1) 総合企画委員会

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 9. 27	第 1 回総合企画委員会	- 正副委員長の選出について - 計画策定の諮問について 「地域福祉活動推進プラン」の進捗状況について 「新・地域福祉活動推進プラン（仮称）」の策定について	県開発公社	23 人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
25. 3. 22	第 2 回総合企画委員会	・ 「新・地域福祉活動推進プラン（仮称）」策定手続きの特徴とその背景について ・ 「新・地域福祉活動推進プラン（仮称）」策定スケジュール（案）の検討について ・ 「新・地域福祉活動推進プラン（仮称）」骨子（案）の策定について	県総合福祉会館	18 人

（２）ボランティアセンター運営委員会等

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 7. 26	ボランティアセンター運営委員会	・ 平成 24 年度茨城県ボランティアセンター事業について ・ 茨城県ボランティア基金助成事業の審査について	県総合福祉会館	12 人
24. 12. 18	ボランティアセンター運営委員会	・ 次年度からの茨城県ボランティア基金助成事業について ・ 平成 24 年度茨城県ボランティアセンター事業実施状況について	県総合福祉会館	10 人
25. 2. 4	ボランティアセンター運営委員会	・ 平成 25 年度茨城県ボランティアセンター事業について ・ 平成 25 年度茨城県ボランティア基金助成事業について	県総合福祉会館	11 人

（３）茨城県民間社会福祉施設職員等退職手当支給制度運営委員会

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 6. 6	茨城県民間社会福祉施設職員等退職手当支給制度第 1 回運営委員会	・ 契約解除について ・ 部分解除について ・ 平成 23 年度事業報告及び収支決算について	県総合福祉会館	6 人
24. 10. 30	茨城県民間社会福祉施設職員等退職手当支給制度第 2 回運営委員会 （書面審議）	・ 契約解除について	書面審議	回答 11 人
25. 3. 15	茨城県民間社会福祉施設職員等退職手当支給制度第 3 回運営委員会	・ 平成 25 年度事業計画概要について ・ 平成 25 年度収入支出予算概要について ・ 資金運用状況について	県総合福祉会館	6 人

（４）茨城わくわくセンター運営委員会

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 6. 11	茨城わくわくセンター運営委員会	・ 平成 23 年度事業報告及び決算について ・ 平成 24 年度事業計画及び予算について ・ わくわく元気アップ講座の開催について	県総合福祉会館	10 人

3 社会福祉大会の開催及び参加

(1) 茨城県社会福祉大会

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 6. 8	第 1 回主催者事務打ち合わせ会	・ 第 61 回社会福祉大会の運営について ・ 第 62 回社会福祉大会役員名簿（案）について ・ 第 62 回社会福祉大会開催日程（案）について ・ 第 62 回社会福祉大会開催スケジュールについて ・ 講師リスト（案）について ・ 顕彰ルートについて	県総合福祉会館	4 人
24. 6. 29	第 2 回主催者事務打ち合わせ会	・ 大会開催要綱（案）について ・ 大会日程・役割分担（案）について ・ 大会宣言（案）について ・ 講演リストについて ・ 大会役員名簿（案）について ・ 運営委員会の開催について	県総合福祉会館	4 人
24. 7. 24	第 1 回大会運営委員会	・ 第 62 回茨城県社会福祉大会について ・ 大会開催要綱（案）について ・ 大会宣言（案）について ・ 記念講演の講師（案）について	県総合福祉会館	26 人
24. 8. 30	第 2 回大会運営委員会	・ 第 62 回茨城県社会福祉大会について ・ 経過報告について ・ 大会運営委員会の役割分担について ・ 大会当日の確認について	県総合福祉会館	27 人
24. 8. 30	顕彰審査委員会	・ 第 62 回茨城県社会福祉大会における本会会長表彰候補者の審査について ・ 第 62 回茨城県社会福祉大会における本会会長が感謝の意を表する者の報告について	県総合福祉会館	22 人
24. 10. 26	第 62 回茨城県社会福祉大会	・ オープニング「寸劇と踊り」 ・ 記念講演「私の介護」～荒木由美子が語る愛と感動の家族物語～ ・ 式 典	常陸太田市民交流センター「パルティホール」	996 人

4 広 報

広報誌「いばらきの社会福祉」発行

- ・ 1 回あたり 9,000 部を作成し、4 回発行（No.286～No.289）して会員ほか、広く配付した。
- ・ 特別号を 701,930 部作成し、水戸市社協を除く各市町村社協を通じて県下全世帯に配付した。

5 地域福祉・ボランティアの推進

(1) 市町村社協への支援・援助

① 会議・研修会の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 4. 27	市町村社協常務理事・事務局長会議	- 説明 1 「平成 24 年度県社協の実施事業等について」 - 説明 2 「小平奨励賞について」	県総合福祉会館	59 人
24. 6. 28	市町村社協事務局長会総会・研修会	【総会】 - 平成 23 年度事業報告について - 平成 23 年度収入支出決算について - 平成 24 年度事業計画（案）について - 平成 24 年度収入支出予算（案）について - 県の結核対策（ドッツ事業）について - 全社協地域福祉推進委員会 - つくば市における竜巻被害関連について - 県社協からの報告 【研修会】 - 社協における労務管理～育児・介護休業法の改正に伴う諸規程の整備を中心に～	県総合福祉会館	53 人
24. 7. 10	第 1 回市町村社協「地域包括支援センター」連絡会議	- 自己紹介 - 説明「平成 24 年度介護保険法改正の概要（最新情報を踏まえて）」 - 報告事項（実態調査結果） - 研究協議（提出協議事項）	茨城県立健康プラザ	23 人
24. 9. 6	第 1 回市町村経理担当職員研修会	- 講義「新会計基準への移行について」 - 会計システム紹介 - 講義「社会福祉協議会の会計と税務」 - 個別質問・会計システム紹介	小美玉市美野里公民館	82 人
24. 9. 24	第 1 回ボランティア担当職員・コーディネーター研修会	講義及びワークショップ「災害ボランティアセンターの運営とコーディネーターの役割～被災者に寄り添う支援のために～」	県総合福祉会館	41 人
24. 9. 29 ～10. 1	ボランティアステージアップ研修	- 第 21 回全国ボランティアフェスティバルへの参加支援 - シンポジウム - 分科会 - 交流会	三重県総合文化センター	8 人
24. 10. 23	第 2 回ボランティア担当職員・コーディネーター研修会	講義及び演習「協働・協力の相手を知り、地域につなぐ～つながるための傾聴技術・対人援助技術を学ぶ～」	県立健康プラザ	24 人
24. 11. 7	平成 24 年度子育て支援活動事業研修会	- 自己紹介 - 情報交換・ネットワークづくり - 講義・グループワーク 「子育て家庭を応援するために私たちは何ができるだろうか？」	県総合福祉会館	45 人
24. 11. 20	第 2 回市町村社協経理担当職員研修会	- 講義「社協モデル経理規程の解説について」 - 演習「拠点区分等の設定について」	県総合福祉会館	94 人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 12. 26	地域福祉（活動）計画担当者研修会	- 事例討論「地域福祉（活動）計画と小地域活動」 - 説明「県内の地域福祉（活動）計画策定状況」 - 現況報告「私たちの地域福祉（活動）計画策定・具現化への挑戦」 - トークセッション「地域福祉（活動）計画を着実に推進するために」	県総合福祉会館	122 人
25. 2. 15	第 2 回市町村社協事務局長会研修会及び連絡会議	- 研修 1「社協・生活支援活動強化方針の具体化に向けて」 - 説明 1「フードバンク茨城の活動」 - 研修 2「高齢者雇用安定法の一部改正を中心に」 - 説明 2「平成 25 年度県社協事業について」	水戸市福祉ボランティア会館	42 人
25. 2. 19	第 2 回市町村社協「地域包括支援センター」連絡会議	- 実践報告「つくばみらい市社協における地域包括支援センターの包括的支援の取り組みについて」 - 説明「日常生活自立支援事業の現状と課題 - 協議・情報交換	茨城県総合福祉会館	23 人
25. 2. 25	市町村社協トップセミナー	- 講演Ⅰ「お客様に満足いただくために」 - 講演Ⅱ「今求められる社協の使命と役割」	水戸プラザホテル	186 人
25. 3. 6 3. 14	地域福祉コーディネーター研修会	- 講義「コミュニティと福祉活動」 - 報告「全社協主催コミュニティワーク研修会の報告」 - 演習「コミュニティ分析と生活課題の把握①」 - 演習「福祉課題の組織化①～地域団体との関わり～」 - 演習「ケース検討」 - ワークショップ「ケース検討の振り返りと合評」 - 演習「福祉課題の組織化②～当事者との関わり～」 - 講義「黒子読本策定の背景と社協職員の視点」 - 演習「コミュニティ分析と生活課題の把握②」 - 講義「まとめ」	ワークプラザ勝田	17 人
25. 3. 7	ボランティア・市民活動シンポジウム	- シンポジウム「そこが知りたい助成金！」 - セミナー「そこが知りたい助成金！～助成金制度活用のコツを学ぼう！～	県立健康プラザ	84 人
25. 3. 18	住民支え合いマップづくりセミナー	- 講義「地域と協働するために」 - 講義「ご近所パワーで助け合い起こし」 - 模擬演習「マップづくり」	県総合福祉会館	29 人

② 調査

・ ボランティア体験月間への取り組み調査 ・ ボランティア把握状況調査 ・ ふれあい・いきいきサロン実態調査
--

③ 相談事業

相談形態	・ 来所相談 ・ 電話相談
主な相談内容	・ 定款・緒規程、経理、事業、講師紹介、視察先紹介 外

④ 団体への協力

茨城県市町村社会福祉協議会事務局長会への協力

茨城社会福祉協議会職員連絡協議会への協力

⑤ 地域支え合い体制づくり事業

事業名	事業内容	金額等
小地域福祉活動支援車両整備事業	土浦市社協外 18 社協	車両 19 台
緊急対応拠点整備事業	日立市社協外 9 社協	4,933,000 円
サロン活動拠点整備事業	常総市社協外 6 社協	6,590,000 円

(2) 福祉コミュニティづくり県民運動の推進

① 会議・研修会の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場	参加者
24. 6. 20	第 1 回はんどちゃん運動推進委員会	・ 平成 23 年度サロン拡充支援事業助成団体訪問について ・ はんどちゃんネットワーク運動キャッチコピーについて ・ 地域支え合い体制づくり事業について ・ サロン拡充支援事業について ・ サロン運営入門講座について ・ 福祉コミュニティづくり推進のつどいについて	里山のたまり場御前山（常陸大宮市）	10 人
24. 9. 17 ～11. 18	ふれあい・いきいきサロンづくり方講座	【ホップ編】 ・ 学び 1 「ふれあい・いきいきサロンの現状とはんどちゃんネットワーク運動」 ・ 学び 2 「縁結び社会の決め手はサロン！」 ・ 自己紹介・仲間づくり ・ 学び 3 「たまり場あ〜ばの五感直感たまり場賛歌」 ・ 学び 4 「先人から学ぶ体験談・失敗談」 【ステップ編】 ・ 学び 5 「サロンの現場へ行こう」 【ジャンプ編】 ・ 学び 6 「ステップ編の振り返り」 ・ 学び 7 「サロン運営に必要なファシリテーションの視点」	県総合福祉会館	45 人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 9. 26	第 2 回はんどちゃん運動推進委員会	・ はんどちゃんグッズについて ・ 平成 23 年度サロン拡充支援事業助成団体訪問について ・ ふれあい・いきいきサロン実態調査について ・ ふれあい・いきいきサロンづくり方講座について ・ サロン拡充支援事業助成金応募団体の審査について ・ 福祉コミュニティづくり推進のつどいについて	たまり場たろう（筑西市）	8 人
24. 12. 5	みんなでつくる支縁社会！地域のたまり場交流会だよ・全員集合！～福祉コミュニティづくり推進のつどい～	・ オープニング「民話から探るふるさと～民話・歴史・わらべ歌～」 ・ 講演「地域の居場所とは何か～居心地のいいサロンを目指して」 ・ トークセッション「サロンの楽しさや魅力を語ろう」 ・ ワールドカフェ「サロンを楽しくするためにみんなの知恵を集結しよう」	ホテルクリスタルパレス（ひたちなか市）	378 人
25. 2. 7	第 3 回はんどちゃん運動推進委員会	・ ふれあい・いきいきサロンづくり方講座について ・ 福祉コミュニティづくり推進のつどいについて ・ サロン拡充支援事業助成及び助成団体訪問について ・ ふれあい・いきいきサロン実態調査について ・ 来年度以降のはんどちゃん運動について	なんだかうれしい。（水戸市）	8 人

② 助成事業

事業名	対 象	金 額
はんどちゃんネットワーク運動サロン拡充支援事業助成金	・ ステップアップ助成金（既設サロン活動強化）22 団体	1,090,000 円
	・ スタート助成金（サロン新規設置支援）7 団体	339,000 円

③ 広報・啓発

- ・ サロン活動実践事例集の作成・配布 300 部
- ・ 広報紙「いばらきの社会福祉」における県内サロン活動を支援する団体の紹介 4 か所

(3) 福祉教育関係事業

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 11. 8	福祉教育研究セミナー	- 実践発表「玉造小学校区による福祉教育の推進」・『福祉教育協力指定事業の推進について』～福祉の芽 育てて咲かす笑顔の輪！・「地域と学校を福祉活動で結ぶ」 - 講演『福祉の学びを創る』～学校と地域の現状をふまえて～	茨城県総合福祉会館 大研修室	91 人

(4) 志民の学び縁卓会議

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 6. 8	第20回志民の学び縁卓会議	- 福祉教育の取り組みに関する調査報告書について - アンケート調査の再集計について - 今年度の進め方について	県総合福祉会館	8 人
24. 8. 10	第21回志民の学び縁卓会議	- 学校に対するアンケート調査の再集計について（学校規模別） - 学校に対するアンケート調査の再集計について（人口別） - 社協に対するアンケート調査の再集計について（人口別） - 自由記述の再集計について	県総合福祉会館	7 人
24. 10. 12	第22回志民の学び縁卓会議	- 学校に対するアンケート調査の再集計について（学校規模別・人口別） - 社協に対するアンケート調査の再集計について（人口別） - 自由記述の再集計について - 学会における自由研究発表について	県総合福祉会館	9 人
25. 1. 23	第23回志民の学び縁卓会議	- 視察研修について - 学校に対するアンケート調査の再集計について（学校規模別・人口別） - 自由記述の再集計について - 社協に対するアンケート調査の再集計について（人口別）	県総合福祉会館	8 人
25. 2. 20 ～21	第24回志民の学び縁卓会議	【視察研修】 - 磐田市社協 - NPO 法人ポレポレ（子育てサロン 青空学級） - 湖西市立新居小学校 【会議】 - 自由記述のまとめについて - 分析結果について	磐田市社協 他	8 人
25. 3. 8	第25回志民の学び縁卓会議	福祉教育の取り組みに関する調査報告書について	県総合福祉会館	8 人

・「福祉教育の取り組みに関する分析結果報告書」を作成（1,200 部）し、学校等に配布した。

(5) 広報・啓発活動

事 項	回数等	内 容
1 県社協広報誌「いばらきの社会福祉」	4 回	1 回あたり 9,000 部作成 計 36,000 部
2 情報提供	随時	本会ホームページでボランティア情報提供等を掲載。

(6) 市町村社協との連携

会議・研修会等出席回数	事業概要（会議事項）
174 回	市町村社協の組織・活動の強化促進を図るため、事務局体制の整備、地域福祉活動・ボランティア活動の支援・連携を図った。

(7) 関係機関、団体等との連携

会議・研修会等出席回数	事業概要（会議事項）
200 回	行政、関係団体、学校等の主催する講座・研修・会議等に本会職員が出席し、連携を図った。

(8) ボランティア振興対策事業

① 茨城県ボランティア活動研究集会

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
25. 2. 8	茨城県ボランティア活動研究集会	- 講義「東日本大震災の経験から～災害時にいきる地域の繋がり～」 講 師 岩手県立大学 山本 克彦 氏 - 実践活動発表「広げよう、繋いでいこう、ボランティア」 コーディネーター 山本 克彦 氏 発表者 県西ブロック 桜川市食生活改善推進員協議会 鹿行ブロック かみすべっぴんさん	大洗文化センター・大ホール	668 人

② ボランティア活動推進会議

ア 県北ブロック

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 7. 18	平成 23 年度分会計監査	- 平成 23 年度事業報告について - 平成 23 年度収入支出決算書及び関係帳票の確認について	那珂市社協・日立市社協	監事 2 人 事務局 1 人
24. 8. 9	県北ブロックボランティア活動推進会議（第 1 回）	- 役員の選任について - 平成 24 年度ボランティア活動推進会議ブロック代表者打ち合わせ会の報告について - 茨城県ボランティア活動研究集会実行委員会について - 平成 23 年度県北ブロックボランティア活動推進会議事業報告及び決算報告について	東海村総合福祉センター「絆」	41 人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 8. 9	県北ブロックボランティア活動推進会議 (第1回)	- 平成 24 年度県北ブロックボランティア活動推進会議事業計画(案)及び予算(案)について - 平成 24 年度県北ブロックボランティア活動研究集について - ボランティア活動推進カギのあり方について	東海村総合福祉センター「絆」	41 人
24. 8. 27	県北・県央ブロック正副議長会議	平成 24 年度県北・県央ブロックボランティア活動研究集会について	大洗町ゆっくら健康館	9 人
24. 10. 4	県北ブロックボランティア活動推進会議 (第2回)	- 平成 23 年度県北ブロックボランティア活動研究集会の評価について - 平成 24 年度県北・県央ブロックボランティア活動研究集会に向けたブロック正副議長合同会議について - ボランティア飼う堂推進会議のあり方の意見集約並びに今後の方向性について	東海村総合福祉センター「絆」	約 27 人
24. 11. 7	県北・県央ブロック正副議長会議	- 開催要綱の修正について - 講師との交渉について - 開催通知文と取りまとめについて - 来賓案内文並びに講演依頼書について - 役割分担について - 当日のスケジュールについて - 参加者紹介シートについて - 当日の配布資料について	大洗町ゆっくら健康館	8 人
24. 12. 8	県北・県央ブロックボランティア活動研究集会	基調講演 「異世代交流のコツ」 講 師 疋田 恵子 氏 日本ボランティアコーディネート協会運営委員 DVD 放映 「大洗町での災害の様子」 活動紹介 「大洗町での災害復興活動紹介」 発 表 高橋 早苗 氏 グループワーク(13 グループに分散) ①新メンバーと旧メンバーとの協働のコツ ②若者とシニアの協働のコツ 全グループの発表について 講師からのコメント 質疑応答	大洗町文化センター・大洗町中央公民館	151 人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
25. 3. 21	県北ブロックボランティア活動推進会議 (第3回)	- 平成24年度県北・県央ブロックボランティア活動研究集会の評価について - 平成24年度県北・県央ブロックボランティア活動研究集会に向けたブロック正副議長合同会議について - ボランティア活動推進会議のあり方の意見集計並びに今後の方向性について	東海村総合福祉センター「絆」	30人

イ 県央ブロック

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 7. 26	県央ブロックボランティア活動推進会議 (第1回)	- 平成24年度県央ブロックボランティア活動推進会議役員の承認について - 平成23年度県央ブロックボランティア活動推進会議事業報告について - 平成23年度県央ブロックボランティア活動推進会議収入支出決算について (監査報告) - 平成24年度県央ブロックボランティア活動推進会議事業計画(案)について - 平成24年度県央ブロックボランティア活動推進会議収支予算(案)について	大洗町健康福祉センター	18人
24. 8. 27	県北・県央ブロック 代表者会議 (第1回)	県北・県央ブロックボランティア活動研究集会の開催について	大洗町健康福祉センター	8人
24. 10. 25	県央ブロックボランティア活動推進会議 (第2回)	- 県北・県央ブロックボランティア活動推進会議研究集会について - 茨城県ボランティア活動研究集会について	大洗町健康福祉センター	17人
24. 11. 7	県北・県央ブロック 代表者会議 (第2回)	県北・県央ブロックボランティア活動研究集会の開催について	大洗町健康福祉センター	7人
24. 12. 18	県北・県央ブロック ボランティア活動研究集会	テーマ「人材の発掘・育成」 講 演 NPO 法人 日本ボランティアコーディネーター協会 疋田 恵子 氏 講演テーマ「異世代交流のコツ」 活動発表 グループワーク - 新しいメンバーと旧メンバーとの協働のコツ - 若者とシニアの協働のコツ	大洗文化センター	151人 県央ブロック 63人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
25. 3. 15	県央ブロックボランティア活動推進会議 （第3回）	・ 県北・県央ブロックボランティア活動研究集会について ・ 茨城県ボランティア活動研修会について ・ 県央ブロックボランティア活動推進会議収入支出補正予算(案)について ・ 次年度について	大洗町健康福祉センター	21 人

ウ 鹿行ブロック

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 8. 9	鹿行ブロックボランティア活動推進会議 及び市社協担当者会議	・ 正副議長の選出について ・ 平成 23 年度鹿行ブロックボランティア活動推進会議事業報告及び決算報告について ・ 平成 24 年度鹿行ブロックボランティア活動研究集会について～今後の鹿行ブロックボランティア活動推進会議及び活動研究集会のあり方について～	神栖市保健・福祉会館	13 人

エ 県南ブロック

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 8. 3	県南ブロックボランティア活動推進会議 （第1回）	・ 役員の選任について ・ 平成 24 年度ボランティア活動推進カギブロック代表者打合せ会の報告について ・ 平成 24 年度事業計画(案)並びに予算(案)について	谷和原保健福祉センター研修室	19 人
	県南ブロックボランティア活動研究集会 第1回実行委員会	・ 正副委員長の選任について ・ ブロックボランティア活動研究集会の内容について		
24. 9. 20	県南ブロックボランティア活動研究集会 第2回実行委員会	・ 会場の使用及び駐車場について ・ 当日の役割分担について ・ 分科会の分け方について ・ 実践活動発表者について ・ 当日の資料について	谷和原保健福祉センター研修室	16 人
24. 11. 12	県南ブロックボランティア活動研究集会	・ テーマ『広げよう、繋いでいこう、ボランティア』 ・ 実践活動発表 各市町村より代表者1名ずつの活動発表(発表者7名) ・ 分科会 8グループに分かれテーマについて協議	谷和原保健福祉センター研修室	184 人
25. 2. 1	県南ブロックボランティア活動推進会議 （第2回）	・ 研究集会アンケート結果並びに課題について ・ 平成 24 年度事業報告並びに決算について	谷和原保健福祉センター研修室	15 人

オ 稲北ブロック

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 6. 29	稲北ブロックボランティア活動推進会議（総会）	- 平成 23 年度事業・決算報告について - 役員の選任（案）について - 平成 24 年度稲北ブロックボランティア活動計画（案）及び収支予算（案）について	龍ヶ崎市地域福祉会館	34 人
24. 8. 28	稲北ブロックボランティア活動推進会議（第 1 回）	- 県ボランティア活動研究集会の開催について - ブロックボランティア活動研究集会の開催について	河内町福祉センター	20 人
25. 1. 23	稲北ブロックボランティア活動研究集会	講演「災害ボランティアの現状」～力を合わせて地域のために～ 講 師 米澤 智秀 氏	河内町農村環境改善センター大ホール	310 人

カ 県西ブロック

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 7. 25	県西ブロックボランティア活動推進会議（第 1 回）	- 平成 23 年度事業報告及び決算報告について - 平成 24 年度ブロックボランティア活動推進会議の進め方について - 平成 24 年度研修会 - 事業計画(案)・予算(案)について - 議長並びに事務局の交代について	坂東市「岩井公民館」	34 人
24. 12. 14	県西ブロックボランティア活動研修会	講演「広げよう、繋いでいこう、ボランティア」 講師：常磐大学 池田 幸也 氏	桜川市やまとふれあいセンター「シトラス」	226 人

③ 茨城県ボランティア活動研究集会実行委員会

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 7. 12	茨城県ボランティア活動研究集会第 1 回実行委員会	- 委員長及び副委員長の選出について - 県ボランティア活動研究集会の開催について	県総合福祉会館	14 人
24. 11. 2	茨城県ボランティア活動研究集会第 2 回実行委員会	- 県ボランティア活動研究集会開催要項について - 研究集会当日の役割分担について - 研究集会の実践活動発表における活動者について - 各ブロックからの参加人数について	大洗文化センター	11 人
25. 3. 12	茨城県ボランティア活動研究集会第 3 回実行委員会	- 県ボランティア活動研究集会参加者アンケート結果報告について - ブロックボランティア活動推進会議・研究集会結果報告 - 次年度の方向性について	県総合福祉会館	11 人

(9) ボランティア・市民活動シンポジウム

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
25. 3. 7	平成24年度ボランティア・市民活動シンポジウム&セミナー	・ シンポジウム「そこが知りたい助成金！」 コーディネーター 常磐大学 池田 幸也 氏 シンポジスト 傾聴ほほえみ 菩提寺 宗子 氏 朗読ボランティアすばる 酒井 基子 氏 NPO 法人子育て応援・ペンギンくらぶ 古山 みのり 氏 ・ セミナー「そこが知りたい助成金！～助成金制度活用のコツを学ぼう！」 講 師 日本財団 荻上 健太郎 氏	県立健康プラザ	84 名

(10) 防災ボランティア関係事業

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 7. 6	防災ボランティア養成研修会（銚田市社協と共催）	・ 講義「災害ボランティアとは」 ・ 実地研修「被災地にてボランティア活動」	宮城県東松島市	28 人
24. 8. 2	災害ボランティアセンター活動報告会	・ シンポジウム「災害VC運営で生じた課題と成果」 ・ 報告「eコミュニティプラットフォームについて」 ・ グループディスカッション「震災から見た社協災害VCの課題とは？」	県立健康プラザ	32 人
24. 9. 15	防災ボランティア養成研修会（龍ヶ崎市社協と共催）	・ 講義「災害ボランティアとは」 ・ 実地研修「被災地にてボランティア活動」	宮城県亘理郡山元町	30 人
25. 1. 8	第 1 回災害ボランティア活動支援マニュアル策定委員会	・ 正副委員長の選出について ・ 災害ボランティア活動支援マニュアルの策定について	県総合福祉会館	6 人
25. 1. 24	第 2 回災害ボランティア活動支援マニュアル策定委員会	・ 災害ボランティア活動支援マニュアルの策定について	県総合福祉会館	7 人
25. 2. 18	第 3 回災害ボランティア活動支援マニュアル策定委員会	・ 災害ボランティア活動支援マニュアルの策定について	県総合福祉会館	6 人
25. 3. 5	第 4 回災害ボランティア活動支援マニュアル策定委員会	・ 災害ボランティア活動支援マニュアルの策定について	県総合福祉会館	7 人

(11) 茨城県防災ボランティアネットワーク関係

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 7. 18	防災ボランティアネットワーク世話人会	・ 平成 23 年度事業報告について ・ 平成 24 年度事業計画(案)について ・ 平成 24 年度定期総会について	県総合福祉会館	6 人
24. 9. 21	防災ボランティアネットワーク総会	・ 平成 23 年度事業報告について ・ 平成 24 年度事業計画(案)について	県立健康プラザ	12 人
	説明会	・ eコミュニティプラットフォームについて		

(12) ボランティア活動推進の補助事業

事業名	事業内容	補助金額
福祉教育協力学区指定事業助成	坂東市社協外3社協	800,000円
ボランティア活動推進費補助	北茨城市社協外5社協	400,000円

(13) ボランティア基金の運営

基金利息及び指定寄付により、県内のボランティア・市民活動団体等や市町村社協に対する活動費の助成を行った。

	助成内訳	助成金額
ボランティア団体助成	15団体	3,468,620円
市町村社協助成	24社協	4,668,406円
合計		8,137,026円

(14) 交通遺児福祉基金

預託金及び基金利息により県内の交通遺児40名（小学校卒業14名、中学校卒業26名）に対し、就学奨励金（50,000円／1人）の贈呈を行った。

	金額	備考
預託金	2,010,000円	3件

(15) 海外援助福祉基金

基金利息及び指定寄付により（公財）プラン・ジャパン（(旧)財団法人フォスター・プラン協会）を通じ、スリランカ国の児童1名に対し、援助（3,000円／月×12月）を行った。

(16) 善意金・品

① 善意金の預託と払い出し状況

	金額	備考
預託金等	4,191,207円	12件
払出金等	4,536,000円	24件

② 善意品の預託と払い出し状況

内容	件数	数量等	払出先
古切手	156件	約5,290,831枚	
使用済みカード	54件	約125,387枚	
書き損じはがき	10件	約3,207枚	
未使用はがき	8件	約1,907枚	
外国紙幣・硬貨	1件		
その他	1件		
イベント、施設招待	3件	458人分	社会福祉施設5ヶ所
福祉巡回車	1件	2台	日立市社協、常総市社協
クリスマスケーキ	1件	10個	福祉施設
電話お願い手帳・ふれあい速達便	1件	各500冊	茨城県聴覚障害者協会、茨城県中途失聴・難聴者協会
高齢者疑似体験教材	1件	3セット	県社協
車椅子	4件	26台	県社協、県内17福祉施設
菓子類	7件	2,967箱	県内44福祉施設
タオル	2件	約311枚(4箱)	県社協

(17) 児童福祉週間等の推進

① 児童福祉週間 (5月5日～11日)			
・ 実施要領の配布 (全社協作成)			
・ ポスターの幹旋 (全社協作成)	5 機関・団体	525 枚	
・ ポスターの配付 (関係会員宛)	462 施設	462 枚	
② 老人保健福祉週間 (9月15日～21日)			
・ 実施要領の配布 (全社協作成)			
・ ポスターの幹旋 (全社協作成)	6 機関・団体	477 枚	
・ ポスターの配付 (関係会員宛)	234 施設	234 枚	

(18) 関係機関・団体との共催・後援事業等

① 日本福祉教育・ボランティア学習学会

実施時期	事業・会議名	事業概要 (会議事項)	会 場	参加者
24. 11. 24 ～ 25	日本福祉教育・ボランティア学習学会 18 回 いばらき大会	・ 基調講演「震災後に考える “福祉教育・ボランティア学習のちから” ～いばらきからの問い～」 ・ 対談「大震災から “かたり・つなぐ・くらし” ～」 ・ 課題別研究 ・ 自由研究発表 シンポジウム「“福祉教育・ボランティア学習” の原理とこれから」	常磐大学	本会から 6 人

② 関係機関・団体との共催・後援事業

実施時期	事業名	会 場	参加者
24. 5. 27	第 14 回茨城県ゆうあいスポーツ大会	笠松運動公園	本会から 2 人
24. 6. 7 ～8	関東社会就労センター協議会研究大会 in いばらき	オークラフロンティアホテルつくば	本会から 1 人
24. 7. 6	茨城県要保護児童対策地域協議会 代表者会議	総合福祉会館	本会から 1 人
24. 8. 24	第 63 回茨城県母子寡婦福祉大会	小美玉市小川文化センター	本会から 3 人
24. 9. 16	第 50 回茨城県身体障害者スポーツ大会	笠松運動公園	本会から 3 人
24. 10. 17	第 50 回手をつなぐ育成会茨城大会	県民文化センター	本会から 1 人
25. 3. 10	第 16 回茨城県聴覚障害者大会	常陸太田市生涯学習センター	本会から 1 人
25. 3. 11	茨城県障害者社会参加推進協議会	県総合福祉会館	本会から 1 人

6 日常生活自立支援事業の実施

(1) 会議・研修会の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 5. 24 他 6 回	契約締結審査会	- 福祉サービス利用援助契約の締結能力判定審査、解約審査 - 困難対応ケース等の相談 - 成年後見制度との併用について 等	県総合福祉会館	延 61 人
24. 7. 30	専門員会議	- 事務説明 - 情報交換	県総合福祉会館	56 人
24. 11. 28	日常生活自立支援事業生活支援員現任研修会	- 講演 1「経済的問題を抱えている人の支援」 - 講演 2「相談援助活動のポイント～知的障がい者とのかかわりを通して～」	県総合福祉会館	198 人
24. 12 ～25. 1	金融機関業務打ち合わせ	- 説明「日常生活自立支援事業の実施状況について」 - 情報交換「金融機関の本事業についての対応の確認」	常陽銀行、筑波銀行、茨城県信用組合、水戸信用金庫、結城信用金庫	9 人
25. 1. 31	日常生活自立支援事業専門員研修会	- 講義「精神障がい者の支援について」 - 実践発表（各機関の社協の取り組み） ①神栖市社協 ②東海村社協 ③日立市社協 - グループ討議・情報交換	県総合福祉会館	54 人

※基幹的社協主催の生活支援員及び担当者向け研修等について

新任生活支援員登録時に新任生活支援員向けの研修会を随時実施し、「生活支援員の手引き」による業務内容の説明・生活支援員としての心構え・相談援助の基本的留意点・契約に向けての留意点・ケース記録の書き方・同行実習・事例検討等を行い、延べ30人が参加した。

生活支援員・市町村社協担当者研修会（現任者向け）を68回実施し、情報交換・傾聴について・事業の理解と生活支援員が行う援助について・事例検討・事例発表・支援に役立つ法律知識・成年後見制度について・コミュニケーション技法・アセスメント・悪徳商法と対処法等について理解を深め、延べ464人が参加した。

(2) 会議、研修への講師派遣

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	派遣者
24. 6. 26	旧下妻管内生活支援員研修会	- グループワーク（生活支援員の活動を通して） - 日常生活自立支援事業について	桜川市真壁福祉センター	2 人
24. 6. 27	茨城町社協職員研修会	日常生活自立支援事業の概要について	茨城町総合福祉センター「ゆうゆう館」	1 人
24. 7. 3	権利擁護に関する講演会「あなたの暮らしのあんしんを」	日常生活自立支援事業の活用法	河内町農村環境改善センター	2 人
24. 9. 3	鉾田市新任生活支援員研修会	- 日常生活自立支援事業の概要について - 生活支援員の活動と役割について	鉾田市社協	1 人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	派遣者
24. 10. 12	キーパーソン研修会	・ 日常生活自立支援事業について	茨城町社協	1 人
25. 2. 20	小美玉市社協日常生活自立支援事業生活支援員現任研修会	・ 見学「茨城県総合福祉会館内」 ・ 講義「日常生活自立支援事業の生活支援員活動について」	茨城県総合福祉会館	1 人

（３） 相談事業

相談形態	・ 来所相談 ・ 電話相談 ・ 訪問
主な相談内容	・ 金銭管理 ・ 福祉サービス利用 ・ 生活設計等 合計 13,708 件

（４）福祉サービス利用援助契約締結件数

基幹的社協	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合 計
水 戸 市 社 協	24	5	10	3	42
日 立 市 社 協	15	0	1	0	16
土 浦 市 社 協	1	0	0	0	1
古 河 市 社 協	12	2	2	0	16
石 岡 市 社 協	3	0	0	0	3
結 城 市 社 協	0	0	0	0	0
龍ヶ崎市社協	3	0	5	1	9
下 妻 市 社 協	0	1	0	0	1
常 総 市 社 協	6	3	6	1	16
常陸太田市社協	15	3	4	0	22
高 萩 市 社 協	2	2	1	0	5
北 茨 城 市 社 協	9	3	2	0	14
笠 間 市 社 協	10	2	1	0	13
取 手 市 社 協	2	0	1	0	3
牛 久 市 社 協	2	0	1	0	3
つくば市社協	14	2	3	0	19
ひたちなか市社協	6	1	2	2	2
鹿 嶋 市 社 協	12	2	1	0	15
潮 来 市 社 協	2	1	0	0	3
守 谷 市 社 協	1	0	1	0	2
常陸大宮市社協	0	0	0	1	1
那 珂 市 社 協	1	0	1	0	2
筑 西 市 社 協	4	1	0	1	6
坂 東 市 社 協	1	1	0	0	2
稲 敷 市 社 協	1	0	1	1	3
かすみがうら市社協	5	0	0	0	5

基幹的社協	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合 計
桜 川 市 社 協	0	0	0	0	0
神 栖 市 社 協	2	0	1	0	3
行 方 市 社 協	2	0	1	0	3
銚 田 市 社 協	8	0	0	0	8
つくばみらい市社協	5	1	6	0	12
小 美 玉 市 社 協	3	1	2	0	6
茨 城 町 社 協	1	1	1	1	4
大 洗 町 社 協	1	1	0	0	2
城 里 町 社 協	0	0	0	0	0
東 海 村 社 協	5	2	0	0	7
大 子 町 社 協	1	1	1	0	3
美 浦 村 社 協	0	0	2	2	4
阿 見 町 社 協	9	0	2	0	11
河 内 町 社 協	3	0	0	0	3
八 千 代 町 社 協	2	0	0	0	2
五 霞 町 社 協	0	0	1	0	1
境 町 社 協	0	1	0	0	1
利 根 町 社 協	2	0	0	0	2
合 計	195	37	60	13	305

(5) 日常生活自立支援事業基幹の社協

委 託 先	対象地域	委託費
水 戸 市 社 協	水戸市	2,910,000 円
日 立 市 社 協	日立市	2,645,000 円
土 浦 市 社 協	土浦市	605,000 円
古 河 市 社 協	古河市	2,820,000 円
石 岡 市 社 協	石岡市	255,000 円
結 城 市 社 協	結城市	595,000 円
龍 ヶ 崎 市 社 協	龍ヶ崎市	255,000 円
下 妻 市 社 協	下妻市	1,090,000 円
常 総 市 社 協	常総市	2,750,000 円
常 陸 太 田 市 社 協	常陸太田市	1,190,000 円
高 萩 市 社 協	高萩市	575,000 円
北 茨 城 市 社 協	北茨城市	1,090,000 円
笠 間 市 社 協	笠間市	2,745,000 円
取 手 市 社 協	取手市	1,085,000 円

委 託 先	対象地域	委託費
牛 久 市 社 協	牛久市	1, 120, 000 円
つ く ば 市 社 協	つくば市	1, 095, 000 円
ひたちなか市社協	ひたちなか市	1, 125, 000 円
鹿 嶋 市 社 協	鹿嶋市	1, 055, 000 円
潮 来 市 社 協	潮来市	600, 000 円
守 谷 市 社 協	守谷市	655, 000 円
常 陸 大 宮 市 社 協	常陸大宮市	595, 000 円
那 珂 市 社 協	那珂市	1, 085, 000 円
筑 西 市 社 協	筑西市	1, 095, 000 円
坂 東 市 社 協	坂東市	600, 000 円
稲 敷 市 社 協	稲敷市	250, 000 円
かすみがうら市社協	かすみがうら市	570, 000 円
桜 川 市 社 協	桜川市	570, 000 円
神 栖 市 社 協	神栖市	595, 000 円
行 方 市 社 協	行方市	610, 000 円
鉾 田 市 社 協	鉾田市	630, 000 円
つくばみらい市社協	つくばみらい市	1, 030, 000 円
小 美 玉 市 社 協	小美玉市	1, 115, 000 円
茨 城 町 社 協	茨城町	585, 000 円
大 洗 町 社 協	大洗町	595, 000 円
城 里 町 社 協	城里町	605, 000 円
東 海 村 社 協	東海村	625, 000 円
大 子 町 社 協	大子町	1, 045, 000 円
美 浦 村 社 協	美浦村	255, 000 円
阿 見 町 社 協	阿見町	630, 000 円
河 内 町 社 協	河内町	600, 000 円
八 千 代 町 社 協	八千代町	250, 000 円
五 霞 町 社 協	五霞町	255, 000 円
境 町 社 協	境町	1, 090, 000 円
利 根 町 社 協	利根町	575, 000 円
委 託 費 合 計	44 市町村	42, 115, 000 円

7 福祉サービス第三者評価事業

(1) 福祉サービス第三者評価事業

① 社会的養護関係施設第三者評価調査者の養成

社会的養護関係施設における第三者評価義務化に伴い、新たな評価項目に適応した評価調査者を養成するため全国社会福祉協議会が実施した評価調査者養成研修に本会調査者を派遣した。

平成 24 年度社会的養護関係施設評価調査者養成研修会修了者：9 名

② 広報啓発

評価事業に関するホームページを運営し、評価事業の普及啓発や評価結果の公表など利用者への情報提供を行った。

URL : <http://www.ibashahyoka.jp/>

(2) 指定小規模多機能型居宅介護等外部評価事業

① 外部評価の実施

小規模多機能型居宅介護事業所及び認知症高齢者グループホームから依頼を受け、下記流れに基づいて外部評価を実施した。

認知症高齢者グループホーム受審事業所数 : 127 事業所

小規模多機能型居宅介護事業所受審事業所数 : 20 事業所

評価の流れ

- (1) 受審案内の送付
- (2) 受審契約の締結
- (3) 事業所自己評価の実施
- (4) 利用者家族アンケートの実施
- (5) 評価調査員による訪問調査の実施
- (6) 評価調査者による評価結果の合議
- (7) 評価結果報告書の作成
- (8) 評価結果の公表

② 広報啓発

評価事業に関するホームページを運営し、評価事業の普及啓発や評価結果の公表など、利用者への情報提供を行った。

URL : <http://www.ibashahyoka.jp/> (再掲)

また、独立行政法人福祉医療機構が運営するWAMNETに外部評価の評価結果を掲載した。

8 生活福祉資金等貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付事業の実施

① 生活福祉資金運営委員会を年9回開催(通常月1回だが、3回は諮問案件が無く開催せず)

② 生活福祉資金申込・貸付決定状況

	申 込		決 定	
	件数	金 額	件数	金 額
総合支援資金	66 件	23,680,827 円	43 件	12,777,735 円
福祉資金	61 件	13,681,000 円	53 件	8,628,000 円
教育支援資金	24 件	7,901,000 円	23 件	7,764,000 円
不動産担保型生活資金	1 件	7,980,000 円	1 件	7,980,000 円
要保護世帯向け 不動産担保型生活資金	1 件	6,214,600 円	1 件	6,214,600 円
合 計	153 件	59,457,427 円	121 件	43,364,335 円

(2) 臨時特例つなぎ資金貸付事業の実施

① 臨時特例つなぎ資金貸付決定 1 件 85,000 円

(3) 生活福祉資金等貸付事業関係会議等

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加対象者
24. 6. 20	市町村社会福祉協議会 生活福祉資金等担当者研修会	説明 ・ 生活福祉資金貸付制度の動向 ・ 生活福祉資金貸付制度について ・ 母子寡婦福祉資金貸付制度等について ・ 不当要求に対する具体的対応要領 講義・演習 ・ 生活福祉資金等貸付相談の対応	県 青 少 年 会 館	市町村社協職員
24. 11. 2	市町村社会福祉協議会 生活福祉資金等担当者研修会	説明 ・ 生活福祉資金貸付制度の動向 ・ 生活福祉資金の帳票について ・ 生活福祉資金における償還業務のポイント 演習 ・ 償還相談会の対応	県 総 合 福 祉 会 館	市町村社協職員
24. 11. 15 ～ 25. 3. 12	債権管理強化業務	・ 市町村社協における償還相談会等の実施	水戸市外 24 市町村	借受人、連帯借受人、連帯保証人、民生委員、市町村社協職員

9 相談支援事業

(1) 福祉相談支援業務の実施

事 業	実 施 状 況
1 福祉相談対応等のマニュアル作成業務 (1) 福祉情報センターがこれまで（H20～H24）に行った福祉相談を相談内容ごとに分類・整理 (2) マニュアルの構成の検討、内容の分析、作成作業校正 (3) マニュアル作成に反映させるため、問い合わせのあった福祉相談について対応 (4) その他上記各業務を実施するうえで必要と認められる業務 2 成果品の作成部数等 (1) 作成部数 200 部 (2) 作成した成果品の電子データを福祉指導課へ提出 3 その他 (1) 職員の確保及び管理 (2) 業務日誌等	1 (1) (2) 福祉情報センターが行った福祉相談の内容を分類整理し、相談マニュアルを作成、『福祉相談の手引き』として冊子にまとめた。 (3) 相談業務の適切な対応と関係相談機関等の連携に努めた 相談件数 2,925 件 (別紙「福祉相談集計表」参照) 相談形態：電話、面接、郵便 2 (1) 『福祉相談の手引き』200 部作成 市町村及び市町村社会福祉協議会（合計 88 か所に配布） (2) 電子データを福祉指導課へ提出 3 (1) 非常勤嘱託 2 名 (2) 業務日 245 日 (土日祝日を除く) 時 間 午前 9 時～午後 5 時

(別紙) 平成 24 年度福祉相談集計表

月 別	相 談 件 数	内 容													方 法			
		就 労	資 格 取 得	福 祉 情 報	生 活	家 族	健 康 医 療	人 権 法 律	児 童	青 少 年	心 身 障 害	母 子 父 子	老 人	そ の 他	来 所	電 話	そ の 他	そ の 他 内 訳
4 月	225	7	8	43	93	35	20	1	0	0	0	18	0	0	6	219	0	
5 月	223	8	16	39	110	12	16	1	0	0	0	20	0	1	10	213	0	
6 月	250	9	12	63	105	19	23	1	0	0	2	16	0	0	17	233	0	
7 月	253	1	12	49	101	27	32	0	0	0	1	28	0	2	5	248	0	
8 月	231	7	8	40	119	16	11	1	0	0	0	26	0	3	8	223	0	
9 月	217	5	3	29	142	8	12	0	0	0	0	17	0	1	11	206	0	
10 月	259	4	6	45	147	15	13	0	0	0	0	29	0	0	10	249	0	
11 月	250	9	4	35	152	12	14	0	0	0	0	20	0	4	6	243	1	郵便
12 月	267	10	0	30	159	18	25	0	0	0	0	22	0	3	13	254	0	
1 月	246	7	5	18	165	17	12	0	0	0	0	16	0	6	2	244	0	
2 月	241	4	5	23	136	28	32	0	0	0	0	11	0	2	6	235	0	
3 月	263	5	6	35	132	19	49	0	0	0	0	9	0	8	1	262	0	
合 計	2925	76	85	449	1561	226	259	4	0	0	3	232	0	30	95	2829	1	郵便

(2) 各種会議・研修会への参加

実施時期	事業・会議名	事業概要 (会議事項)	会 場	参加者
H24. 6. 11	平成 24 年度電話 相談専門研修会	・ 講演会 ・ テーマ別分科会	茨城県教育研 修センター	1 人
H24. 9. 4	平成 24 年度電話 相談専門研修会	・ 講演会 ・ テーマ別分科会	茨城県教育研 修センター	1 人

10 社会福祉施設の機能強化

(1) 研修及び啓発事業等

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 9. 5	保育所給食研修会	・ パネルディスカッション ・ 講演「家庭との連携による食育の推進」	県総合福祉会館	262 人
24. 9. 8	古河ふれあい広場 （地域貢献活動支援事業）	・ 福祉施設利用者による舞台 ・ 模擬店等	古河市ネーブルパーク	本会から 2 人
24. 10. 27	障がい者ふれあい事業 （地域貢献活動支援事業）	・ 餅つき ・ レクレーション等 （銚田市の福祉施設がボランティアで協力）	銚田市社会福祉協議会	本会から 2 人
24. 11. 17	第34回茨城県保育大会	・ 式典・表彰 ・ 講演 「吉本芸人として学んだ、空気作りの方程式」 「笑う門には福がくる」	つくば国際会議場	629 人
24. 12. 16	元気いっぱい福祉まつり（地域貢献活動支援事業）	・ 式典 ・ ステージ発表等	ペルフォーレ（坂東市）	本会から 2 人
25. 1. 16 ～17	主任保育士研究協議会	・ 講演「茨城県の保育の現状と今後の課題」 ・ 講演「保育施設における事故防止」 ・ ブロック発表 ・ 講演「日本のディズニーで教わった感動のサービス」 ・ 分科会（7 分科会）	ホテルレイクビュー水戸 水戸プラザホテル 県民文化センター 県総合福祉会館	374 人
25. 1. 19	第22回ふれあい福祉のつどい （地域貢献活動支援事業）	・ ステージ発表 ・ 福祉作品展 （結城市の福祉施設がボランティアで協力） ・ 模擬店等	けやき公園（結城市）	本会から 1 人
25. 2. 14	保育研究発表会	・ 研究発表（7 ブロック） 「保育園からの『食』の発信」～食べるって楽しいね～ 「ボディコントロールを身につけよう！」～けがをしない身体をつくるために～ 「絵本を通して、子どもの豊かな心を育てるために」 「子どもの社会性を育む」―集団遊びを通して― 「親の心に寄り添う子育て支援」～楽しい子育てにするために～ 「絵本から広がる 人と人のつながり」～絵本を好きになろう～ 「心と心をつなげよう」―乳幼児のスキンシップを通して―	県民文化センター	303 人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
25. 3. 4	職員研修会 （地域貢献活動支援事業）	・ 研修「コミュニケーション能力アップ&マナー」	笠間市友部社会福祉会館	本会から 1 人
25. 3. 4	介護福祉施設における事業所内保育施設研修会	・ 講演「福祉ニーズが高まる背景」「事業所内保育施設の設置」	県総合福祉会館	29 人
25. 3. 13	保育所長研究協議会	・ 講演「働きやすい職場環境を整える管理者としての役割」―職場のメンタル面を考える―	ホテルレイクビュー水戸	287 人

（２）福祉医療機構借入金利子補給費補助事業

事 業 名	補 助 金	摘 要
民間社会福祉施設整備借入金利子補給費補助事業	143, 800, 000 円	209 施設

（３）他団体への協力・連絡調整・その他

団 体 名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
茨城県保育協議会	・ 正副会長・正副委員長会議（3 回） ・ 理事会（2 回） ・ 代議員会（1 回） ・ 保育の日委員会（1 回）	県総合福祉会館外	本会から 延 13 人
茨城県児童福祉施設協議会	・ 総会（2 回） ・ 第 63 回野球大会・第 43 回ソフトボール大会 ・ 第 54 回バレーボール大会・第 43 回ドッジボール大会 ・ 新年情報交換会	県総合福祉会館外	本会から 延 12 人
茨城県児童福祉施設長会	・ 施設長会（1 回） ・ 総務委員会（2 回） ・ 研修委員会（4 回） ・ 茨城県との懇談会（2 回） ・ 茨城県との情報交換会（2 回） ・ 研修会（1 回） ・ 茨城県里親連合会との合同研修会（1 回）	県総合福祉会館外	本会から 延 24 人
茨城県心身障害者福祉協会	・ 総会（1 回） ・ 施設長会議（2 回） ・ 理事会（3 回） ・ 福祉の店運営委員会（1 回） ・ 知事を囲んでの懇談会（2 回）	県総合福祉会館外	本会から 延 8 人
茨城県救護施設協議会	・ 総会（1 回） ・ 研修委員会（4 回） ・ 職員研修会（0 回） ・ 交換研修会（4 回）	県総合福祉会館外	本会から 延 8 人
茨城県母子生活支援施設連絡協議会	・ 総会（1 回）	県立母子の家	本会から 延 1 人

団 体 名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
茨城県里親連合会	・ 理事会（2回） ・ 評議員会（2回） ・ 研修・広報委員会（3回） ・ 検討会（1回） ・ 関東甲信越静里親研究協議会代表者会議（3回） ・ 第56回関東甲信越静里親研究協議会埼玉大会 ・ 第40回「杉の子」のつどい ・ 県児童福祉施設長会との合同研修会（1回）	県総合福祉会館 外	本会から 延28人
茨城県民間社会福祉事業従事者互助会	・ 理事会（2回） ・ 評議員会（2回）	県総合福祉会館	本会から 延6人
茨城県老人福祉施設協議会	・ 総会（2回） ・ 理事会・役員会（4回） ・ 経営管理委員会（5回） ・ 研修委員会（5回） ・ 福利厚生委員会（3回） ・ 情報委員会（6回） ・ サービス向上委員会（5回） ・ 認知症介護実務者研修実行委員会（3回） ・ 21世紀委員会（6回） ・ 養護部会会議（養護部会勉強会）（2回） ・ 軽費部会会議（軽費部会会議）（3回） ・ 給食研究会ブロック代表者会議（5回） ・ 福祉人材確保対策委員会（4回） ・ ケアマネージャー研究会ブロック代表者会議（2回） ・ 研修会（勉強会）（24回） ・ 福祉職場2012フェスティバル（1回） ・ 介護の日・写真展（1回） ・ 施設職員バレーボール大会（1回） ・ 施設職員ボウリング大会（1回） ・ 施設職員ゴルフ大会（1回）	県総合福祉会館 外	本会から 延16人
茨城県社会福祉施設経営者協議会	・ 総会（1回） ・ 正副会長会議（2回） ・ 理事会（2回） ・ 理事長等研修会（2回） ・ 研修委員会（1回） ・ 福祉職場2012フェスティバル（1回） ・ 講演会（1回） ・ 懇談会（1回） ・ 社会福祉予算意見提出式（1回） ・ 全国経営協ブロック会議（出席） ・ 全国社会福祉施設経営者大会（出席）	県総合福祉会館 外	本会から 延25人

(4) 関係機関・団体との共催・後援事業（福祉施設関係）

実施時期	事業・会議名	事業内容	会 場	参加者
24.12. 8	ナイスハートふれあいフェスティバル 2012	・ 障害者自身による音楽・ダンス等の文化活動の発表会	県民文化センター	5,000 人

(5) 茨城県民間社会福祉施設職員退職手当支給制度事業運営状況

① 加入状況

施設種別	加入未加入施設		施設（力所）		加入人員 （人）
	総数	加入	未加入		
救護施設	4	3	1		94
児童福祉施設	40	36	4		774
保育所	294	249	45		4,123
老人福祉施設	582	355	227		4,169
身体障害者福祉施設	1	1	0		6
知的障害者福祉施設	1	1	0		2
精神障害者施設	0	0	0		0
障害者自立支援施設	175	144	31		2,208
合 計	1,097	789	308		11,376
百 分 率		71.9%			
前年同期	施 設 数	787 施設		施 設 数	0.3%増
	人 員	11,455 人		人 員	0.7%減
	平成 24 年 3 月 31 日現在		前 年 比	平成 25 年 3 月 31 日現在	

新規加入・未加入施設・廃止等施設内訳

施設種別	加入未加入施設			新設法人・新設施設			既設法人・新設施設			廃止等 施設
	施設数	加 入	未加入	施設数	加 入	未加入	施設数	加 入	未加入	
児童福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保育所	2	1	1	5	3	2	5	3	2	0
老人福祉施設	5	0	5	8	3	5	8	3	5	0
身体障害者福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的障害者福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神障害者施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害者自立支援施設	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0
合 計	7	1	6	14	7	7	14	7	7	0

② 退職手当金支給状況

ア 自己都合退職（A）

人 員	退職給付金 （イ）	付加給付金 （ロ）	本会支給額 （イ）＋（ロ）＝（ハ）	共済法支給額 （ニ）	計 （ハ）＋（ニ）
1,179	97,191,740	171,279,850	268,471,590	1,360,864,890	1,629,336,480

イ 自己都合外退職者（B）

人 員	退職給付金 （イ）	付加給付金 （ロ）	本会支給額 （イ）＋（ロ）＝（ハ）	共済法支給額 （ニ）	計 （ハ）＋（ニ）
11	20,323,107	15,876,070	36,199,177	90,676,620	126,875,797

ウ 本会支給金額

$$(A) + (B) = 1,190 \text{ 人 } \quad 304,670,767 \text{ 円}$$

エ 対前年度比較

・ 自己都合退職	1,179 人	(前年同期 1,089 人)
・ 自己都合外退職	11 人	(前年同期 3 人)
・ 業務上の傷病・死亡退職	0 人	(前年同期 0 人)
・ 犯罪等による退職	0 人	(前年同期 0 人)
・ 1 年未満適用外退職	181 人	(前年同期 206 人)
計	1,371 人	(前年同期 1,298 人)

③ 資金の運用状況

平成 25 年 3 月 31 日現在

(単位:千円)

預金種別	資金額	平均利率	利子収入等 平成 24 年度	構成割合	基準とする 配分構成	変更許容 範囲
普通預金	642,511	—	—	12.1%	15%	±10%
国 債	2,778,166	2.51%	69,837	52.2%	50%	±10%
地 方 債	1,299,700	1.98%	25,826	24.4%	15%	±10%
仕 組 債	600,000	0.44%	2,667	11.3%	20%	±10%
合 計	5,320,377	1.84%	98,332	100.0%	100%	±10%

④ 会 議

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 4. 24	茨城県社会福祉協議会等事業説明会	1 茨城県社会福祉協議会 ・ 会員等について ・ 茨城県福祉人材センター事業について ・ 社会福祉従事者の研修事業について ・ 社会福祉施設職員退職手当共済事業について ・ 茨城県民間社会福祉施設職員等退職手当支給制度について ・ 福利厚生センターについて ・ 苦情解決事業について 2 福祉関係団体 ・ 茨城県民間社会福祉事業従事者互助会の事業について ・ 茨城県社会福祉施設経営者協議会について ・ その他	県総合福祉会館	7 人
25. 2. 15	社会福祉施設職員等退職共済事業事務打合せ	・ 事業の計画・執行状況等について ・ 契約等にかかる各種諸届出等に関する留意事項について ・ 退職手当金請求書・被共済職員退職届に関する留意事項及び支給にかかる取扱い等について ・ 業務委託等について	独立行政法人福祉医療機構	本会から 1 人

(6) 福利厚生センター事業

① 会員数（平成 24 年 10 月 1 日現在）

119 法人・団体（214 事業所） 5,147 人

② 会員交流事業

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者 (助成者人数)
24. 6. 29 ～7. 1	茨城空港発着 魅惑の大都市上海 3 日間	・ 会員相互の交流を図った。	中華人民共和国	21 人
24. 7. 28 ～30	茨城空港発着 ぐるっと北海道 3 日間	〃	北海道	30 人
24. 7. 28	八景島シーパラダイス 1 日満喫日帰り	〃	神奈川県	39 人
24. 8. 4	帝国劇場「ラ・マンチャの男」観 劇とダイバーシティー東京	〃	東京都	36 人
24. 8. 18	氷の上のミュージカル ディズニーオンアイス	〃	東京都	40 人
24. 8. 25	横須賀軍艦めぐり	〃	神奈川県	36 人
24. 9. 1	宝塚月組観劇「ロミオとジュリエ ット」	〃	東京都	58 人
24. 9. 29	東京ディズニーランド パークファン・パーティ	〃	千葉県	300 人
24. 10. 20	東京スカイツリーソラマチと 浅草下町散策	〃	東京都	40 人
24. 11. 13	子供たちが主役の町キッザニア 東京	〃	東京都	60 人
24. 11. 17 ～18	秋の京都 1 泊 2 日	〃	京都府	41 人
24. 11. 17	ワインのタベ	〃	東京都	110 人
24. 12. 8 ～9	光のページェントと松島グルメ の旅	〃	宮城県	38 人
25. 1. 19	新春初笑いよしもと浅草花月・浅 草散策と東京スカイツリーソラ マチ散策	〃	東京都	60 人
25. 2. 2	鎌倉大仏・鶴岡八幡宮参拝と小町 通り自由散策	〃	神奈川県	43 人
25. 2. 16	優雅なランチブッフェとみなと みらい散策	〃	神奈川県	45 人

③ 会議等への参加

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 4. 25	福利厚生センター全 国連絡会議	・ 平成 24 年度のセンター運営について ・ 会員の拡大について ・ 平成 24 年度福利厚生事業の実施について ・ 平成 24 年度予算等について ・ ブロック別会議	東京都「総評会 館」	本会から 1 人
24. 11. 2	福利厚生センター事 業説明会	・ 新事業説明 ・ 意見交換会	東京都「福利厚 生センター」	本会から 1 人

(7) 義務教育教員免許志願者介護等体験受入調整事業

① 受入調整結果

	調整人数	終了人数	大学等数	受入施設数	
第1 四半期	162 人	159 人	7 校	87 所	
第2 四半期	418 人	403 人	38 校	141 所	
第3 四半期	361 人	351 人	20 校	135 所	
第4 四半期	373 人	362 人	9 校	117 所	
合 計	1,314 人	1,275 人	延 74 校	延 480 所	
前年同期	調整人数	1,301 人	前 年 比	調整人数	1.0%増
	終了人数	1,268 人		終了人数	0.5%増
	大学等数	延 82 校		大学等数	9.76%減
	受入施設数	延 591 施設		受入施設数	18.79%減
	平成24年3月31日現在			平成25年3月31日現在	

② 会議等への参加

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
25. 1. 23	介護等体験オリエンテーション	・ 介護等体験担当者講話 ・ 担当教員との学生の実施状況についての話し合い（30日のみ）	茨城大学	本会から 2人
25. 1. 30				本会から 2人
25. 3. 11	介護等体験事前指導	・ 社会福祉施設における介護等体験について（担当者講話）	筑波大学	本会から 2人

③ 会議の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 4. 27	義務教育教員免許志願者介護等体験事務担当者会議	・ 平成23年度実施状況及び平成24年度上期受入可能状況について ・ 義務教育教員免許志願者介護等体験事務処理要領について ・ 学生に対する事前研修の実施状況について ・ 施設、大学等からの協議事項、要望事項等について	県総合福祉会館	9人

1 1 調査・研究事業

(1) 研究交流誌「いばらきの福祉活動」第8号刊行。

・ 総頁数90頁、発行部数4,000部。年1回刊行

1 2 福祉人材センターの運営

(1) 福祉人材無料職業紹介事業

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	求職者
24. 6. 17	福祉の就職総合フェア2012～就職相談会～	福祉職場への就職希望者を対象に、求人事業所との就職相談や求職登録・情報提供等を行った。	県総合福祉会館	99人
24. 9. 23			県県南生涯学習センター	57人
24. 6. 15	福祉人材センターサテライト	県内大学へ出向き、福祉施設に就労を希望する学生の資格相談、求職登録等を行った。	常磐大学	3人
25. 2. 13			茨城リサ教大学	24人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	求職者
24. 7. 28	福祉職場2012 フェスティバル	広く県民に対し、福祉職場への理解と就労意欲の促進を図るため開催した。	県総合福祉会館	約 500 人
25. 1. 27	福祉のしごとセミナー	福祉の職場に就職したい方を対象に福祉職場の現状や専門性、就職活動のアドバイス等について情報提供を行い、就職活動を支援した。	フェリヴェール サンシャイン	40 人
24. 6. 15 25. 3. 7	福祉の職場説明会 「就職ガイダンス」	福祉の職場に就職を希望する学生や進路指導担当者及び県民等を対象に、福祉職場紹介や資格等についての知識・理解が更に深められるよう情報提供を行い、就職活動を支援した。	常磐大学 県立古河二校	82 人 76 人
通年	福祉人材無料職業紹介事業	インターネットによる福祉の職場への就労斡旋と求人事業所への人材確保を推進した。	県総合福祉会館	別表参照
年 12 回	福祉人材情報誌「うえるわーく」の作成・発行	求人情報の提供を図るため「うえるわーく」を作成し配布した。 1 回 300 部発行（希望求職者等）		
年 12 回	求職登録者一覧の作成・発行	求職者情報の提供を図るため「求職登録者一覧」を作成し配布・配信した。 1 回当たりの配信数 220 部（郵送を含む） （県内福祉施設、求人事業所等）		

（２）関係機関・団体との連絡調整及び連携事業

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 10. 10	茨城県福祉人材確保・育成連絡会議	- 福祉・介護人材の需給状況について - 福祉・介護人材緊急確保対策事業について - 関係機関・団体における福祉人材確保の取り組み状況及び情報交換について - 各事業の連携協会について	県総合福祉会館	20 人
24. 8. 31 24. 9. 19 24. 11. 28 25. 2. 22	県立高等学校就職支援キャラバン隊	就職を希望する高校生とその保護者を対象に、就職の現状を説明するとともに、就職に対する意識の向上を図り、円滑な就職への支援を行った。	江戸崎総合高校 鹿島灘高校 鹿島高校 水戸農業高校	183 人 7 人 13 人 12 人

【別表】

① 福祉人材センター利用状況集計表（求職状況実績）

項目	内 容	求職登録者数	項目	内 容	求職登録者数
性 別	男	548	職種別 （複数 回答）	介護職	831
	女	883		相談・支援・指導員	430
	合計	1,431		介護支援専門員	93
年齢別	10 歳代	35		ホームヘルパー	369
	20 歳代	335		保育士	59
	30 歳代	368		社会福祉協議会専門員	165
	40 歳代	386		セラピスト（OT・PT）	7
	50 歳代	220		看護職	23
	60 歳代	86		事務職	196
	70 歳代以上	1		栄養士	9
	合計	1,431		調理員	37
分野別 （複数 回答）	高齢者	750		その他	220
	障害者（身体）	332	勤 務 形態別	合計	2,439
	障害者（知的）	359		正職員	850
	障害者（精神）	151		非正規職員	267
	児童	271		不問	314
	社会福祉協議会（現業員含む）	200		合計	1,431
	その他福祉	168	地域別 （複数 回答）	県北地区	512
	福祉・介護以外	0		県央地区	652
資格別 （複数 回答）	合計	2,231		県南地区	140
	介護福祉士	326		県西地区	256
	社会福祉士	149		鹿行地区	77
	精神保健福祉士	38		合計	1,637
	保育士	82			
	社会福祉主事	246			
	児童指導員	83			
	介護支援専門員	98			
	ヘルパー（1・2・3 級）	858			
	セラピスト（OT・PT）	0			
	看護師・准看護師・保健師	21			
	管理栄養士・栄養士	17			
	調理師	39			
	教員（幼稚園・小・中学校・高校・養護教諭）	125			
	その他	95			
	合計	2,177			

② 福祉人材センター利用状況集計表（求人数実績）

項目	内 容	件数	人数	項目	内 容	件数	人数
分野別	高齢者	1,890	4,444	学歴別 (最終 学歴)	大学卒	44	60
	障害者（身体）	96	191		短大卒	27	41
	障害者（知的）	108	226		専門学校卒	231	529
	障害者（精神）	14	26		高校卒	616	1,544
	児童（保育所・児童養護・障害児施設等）	76	112		不問	1,358	3,005
	社会福祉協議会（現業員含む）	49	71		合計	2,276	5,179
	その他	43	109		資格別 (複数 回答)	介護福祉士	990
	合計	2,276	5,179	社会福祉士		231	425
職種別	介護職	1,078	3,061	精神保健福祉士		40	60
	相談・支援・指導員	255	453	保育士		126	196
	介護支援専門員	141	282	社会福祉主事		181	416
	ホームヘルパー	100	176	児童指導員		25	50
	保育士	80	145	介護支援専門員		204	372
	社会福祉協議会専門員	4	4	ヘルパー（1・2・3級）		1,057	2,793
	セラピスト（OT、PT）	32	51	セラピスト（OT、PT）		68	113
	看護職	427	796	看護師・准看護師・保健師		806	1,488
	事務職	22	24	管理栄養士・栄養士		25	26
	栄養士・調理員	41	50	調理師		3	4
	その他	96	137	教員（幼稚園・小・中・高校・養護教諭）		14	31
	合計	2,276	5,179	不問		281	768
勤務 形態	正職員	1,343	3,379	その他		146	262
	非正職員	933	1,800	合計		4,197	9,429
	合計	2,276	5,179	所在地 別	県北	596	1,297
			県央		927	1,895	
			県南		399	976	
			県西		247	713	
			鹿行		107	298	
			合計		2,276	5,179	

③ 福祉人材センター利用状況集計表（紹介・採用数実績）

項目	内 容	紹介数	採用数	項目	内 容	紹介数	採用数
分野別	高齢者	280	169	職種別	介護職	190	107
	障害者（身体）	32	13		相談・支援・指導員	43	22
	障害者（知的）	8	7		介護支援専門員	26	13
	障害者（精神）	0	0		ホームヘルパー	9	6
	児童	7	6		保育士	5	4
	社会福祉協議会（現業員含む）	0	0		社会福祉協議会専門員	0	0
	その他	8	3		セラピスト（OT・PT）	0	0
	合計	335	198		看護職	3	3
勤務形態	正職員	205	108		事務職	0	0
	非正職員	77	49		栄養士・調理員	1	1
	合計	282	157		その他	5	1
					合計	282	157

※ 分野別紹介数・採用数は事業所の運営が多岐にわたる所もあるため、他項目とは異なる。

- ④ 福祉人材センター利用状況（来所した方で、求職相談者を除く）
求人票の閲覧者数 315 人（H24. 4～H25. 3）

13 福祉・介護人材確保のための緊急支援

（1）福祉・介護人材確保特別対策事業

事業名	事業概要（会議事項）	雇用人数
福祉・介護職員確保特別対策事業	現在、職についていない失業者等を対象に、一時的な雇用・就職の機会を与え、将来の福祉・介護職の人材養成確保に努める。	365 人

（2）福祉・介護人材キャリアパス支援事業コーディネート業務

事業名	事業概要（会議事項）	事務局
福祉・介護人材キャリアパス支援事業コーディネート業務	複数の小規模事業所等がネットワークを形成し、事業所間の連携による求人活動及び広報啓発事業等を通じて、人材確保・育成を図る。	①特別養護老人ホームうみべの家 ②グループホーム堀安の舎 ③グループホーム堀安の舎 ④グループホームお母さんの家 ⑤特別養護老人ホーム大野の郷 ⑥グループホームお母さんの家 ⑦ショートステイ和香紗羽原ビレッジ ⑧小川ケアセンターみどりの風グループホーム ⑨グループホームえがお ⑩グループホーム美里 ⑪グループホーム楓 ⑫グループホーム「えがお」 ⑬特別養護老人ホーム滝の園 ⑭特別養護老人ホーム博慈園 ⑮ヘルプステーションゆうき ⑯グループホームぐるんぱの杜 ⑰特別養護老人ホームユアアイの家 ⑱グループホーム来夢 ⑲介護老人保健施設もえぎ野 ⑳グループホーム美里 ㉑グループホームスマイルタウン ㉒グループホームお母さんの家 ㉓訪問介護スマイルタウン ㉔ヘルプステーションゆうき ㉕わかさ羽原ビレッジ ㉖特別養護老人ホームMAO ㉗特別養護老人ホームやすらぎの里 ㉘特別養護老人ホームあじさい苑

（3）潜在的有資格者等再就業促進事業

事業名	事業概要（会議事項）	参加者
潜在的有資格者等再就業促進事業	福祉・介護分野への就労に関心のある方を対象に、事前に福祉職場への雰囲気や介護内容等を体験する機会を提供する。	103 人 延 212 日

(4) 福祉・介護人材マッチング機能強化事業

① キャリア支援専門員を6名配置

② 就職面接会の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 9. 1	就職面接会	福祉職場への就職希望者を対象に、求人事業所との就職面談や相談等を行った。	ホテルグランド東雲	28 人
24. 10. 14	就職面接会		日立シビックセンター	35 人
24. 10. 21	就職面接会		スピカ	23 人
24. 11. 23	就職面接会		ホテルマロウド筑波	56 人
24. 12. 1	就職面接会		江戸川大学総合福祉専門学校	156 人
25. 1. 27	就職面接会		フェリヴェールサンシャイン	49 人

③ 求人事業所の開拓

事業概要（会議事項）	訪問事業所		
		箇所数	延べ事業所数
主に、ハローワークに登録しており、人材センターに未登録の事業所を訪問した。	社会福祉法人	34 事業所	46 事業所
	その他施設	12 事業所	14 事業所

④ ハローワーク訪問活動

事業概要（会議事項）	ハローワーク
福祉人材センターのキャリア支援専門員による出張相談業務を行った。	日 立
	筑 西
	土 浦

⑤ 福祉・介護就職相談会（キャリア支援専門員による出張相談）

事業概要（会議事項）	会 場	参加者
・求職者の開拓として、出張の福祉・介護就職相談会を開催した。	①北茨城市社会福祉協議会	延 10 回 延 38 人参加
	②くりえーとセンター大宮	延 10 回 延 40 人参加
	③小美玉市社会福祉協議会 本所	延 4 回 延 2 人参加
	④小美玉市社会福祉協議会 美野里支所	延 4 回 延 2 人参加
	⑤鉾田市鉾田中央公民館	延 7 回 延 25 人参加
	⑥阿見町社会福祉協議会	延 8 回 延 15 人参加
	⑦つくばみらい市社会福祉協議会	延 8 回 延 11 人参加
	⑧結城市社会福祉協議会	延 8 回 延 16 人参加

⑥ 「ふくし職働」の開催

事業概要（会議事項）	会 場	参加者
・暮れ六つ講座 ・木になる講座 ・あおぞら講座 ・夕暮れしゃべり場 ・おひさま講座	県総合福祉会館	5 コース 24 回 延 97 人参加
		6 コース 10 回 延 86 人参加
		5 コース 5 回 延 36 人参加
		24 回 延 80 人参加
		3 コース 10 回 延 26 人参加

(5) 介護福祉士等修学資金貸付事業

① 審 査

審査委員 4 名による審査 年 1 回（H24. 7. 2 開催）

② 決 定

介護福祉士養成校からの申請者 42 名、社会福祉士養成校からの申請者 8 名、計 50 名へ貸付を行った。

(6) 福祉・介護人材確保対策連携強化事業

実施時期	事業・会議名	構成団体
24. 10. 10 25. 3. 18	茨城県福祉・介護人材確保対策連絡協議会	①茨城県保育協議会 ②茨城県児童福祉施設長会 ③茨城県心身障害者福祉協会 ④茨城県老人福祉施設協議会 ⑤リリー保育福祉専門学校 ⑥アール医療福祉専門学校 ⑦筑波総合福祉専門学校 ⑧水戸総合福祉専門学校 ⑨茨城県介護福祉士会 ⑩茨城県外国人就労・就学サポートセンター ⑪日本介護福祉士養成施設協会関東信越ブロック協議会茨城部会 ⑫つくばみらい市社会福祉協議会 ⑬茨城労働局職業安定部職業安定課 ⑭水戸公共職業安定所 ⑮茨城県教育庁高校教育課 ⑯茨城県保健福祉部福祉指導課 ⑰茨城県社会福祉協議会

1 4 福祉人材の養成

(1) 介護支援専門員に関する事業

① 介護支援専門員実務研修受講試験の実施

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	受験者	合格者
24. 10. 28	介護支援専門員実務研修受講試験	介護支援専門員実務研修を受講する前提として、事前に必要な、保健・医療・福祉に関する専門的知識等を有していることを確認する。	県立水戸第三高等学校 茨城キリスト教大学 県立牛久栄進高等学校 流通経済大学	3, 114 人	558 人

② 介護支援専門員実務研修の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	修了者
25. 1. 12	介護支援専門員実務研修	前期 1 日目（集合研修） ・ 介護保険制度の理念と介護支援専門員 ・ 要介護認定等の基礎 ・ 地域包括支援センターの概要	つくば国際会議場	553 人
25. 1. 15 ～ 2. 6		前期 2 日目・3 日目・4 日目（班別研修 6 班×3 日間） ・ 介護支援サービス（ケアマネジメント）の展開技術 ・ 相談面接技術の理解 ・ 介護支援サービス（ケアマネジメント）の基礎技術 ・ 受付及び相談と契約 ・ 苦情申し立てと権利擁護	県総合福祉会館 県青少年会館	

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	修了者
25. 1. 15 ～ 2. 6		・ 介護支援サービス（ケアマネジメント）の基本 ・ アセスメントツール ・ 国際生活機能分類（ICF）の考え方とアセスメント ・ アセスメント、ニーズ把握の方法 ・ チェックポイントシートの記入方法 ・ 居宅サービス計画等の作成 ・ 実習オリエンテーション 実習（居宅サービス計画作成） ・ 対象者の選定、アセスメント、居宅サービス計画書作成等	県総合福祉会館 県青少年会館	
25. 2. 17 ～3. 15		後期研修 1 日目・2 日目・3 日目（班別研修 6 班×3 日間） ・ 介護予防支援（ケアマネジメント） ・ 実習事例報告演習 ・ チームアプローチ演習・サービス担当者会議 ・ モニタリングの方法 ・ 給付管理 ・ 研修のまとめ	県総合福祉会館	

③ 介護支援専門員更新・再研修の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	修了者
24. 10. 5	介護支援専門員更新研修	前期 1 日目（集合研修）	県総合福祉会館	更新研修 ： 55 人 再研修 ： 92 人
25. 1. 12	介護支援専門員再研修	・ 介護保険制度の理念と介護支援専門員 ・ 要介護認定等の基礎 ・ 地域包括支援センターの概要 ・ 介護予防支援（ケアマネジメント）		
24. 10. 7 ～10. 25		前期 2 日目 3 日目・4 日目（班別研修 2 班×2 日間）		
25. 1. 15 ～ 2. 5		・ アセスメント、ニーズ把握の方法 ・ 介護支援サービス（ケアマネジメント）の基本（アセスメントツール） ・ 介護支援サービス（ケアマネジメント）の基礎技術（受付及び相談と契約） ・ チェックポイントシートの記入方法 ・ 居宅サービス計画等の作成 ・ 実習オリエンテーション ・ 実習訪問における留意点 ・ 給付管理 実習（居宅サービス計画作成）		

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	修了者
24. 12. 1 ～12. 9		後期研修 1 日目・2 日目・3 日目 (班別研修 2 班×3 日間)		
25. 2. 18 ～ 3. 15		・ 実習事例報告演習 ・ ケアプラン作成演習の振り返り ・ 相談面接技術の理解 ・ チームアプローチ演習・サービス担当者会議 ・ モニタリングの方法 ・ 介護予防支援（ケアマネジメント）		

④ 介護支援専門員指導者会議及びワーキングチーム指導者会議の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 5. 9	介護支援専門員実務研修及び更新再研修指導者会議	・ 介護支援専門員実務研修及び更新・再研修に関するご意見・ご報告 ・ 介護支援専門員実務研修及び更新・再研修カリキュラムについて ・ その他	県総合福祉会館	33 人
24. 6. 1	介護支援専門員実務研修及び更新・再研修ワーキング指導者会議	・ 介護支援専門員実務研修及び更新・再研修カリキュラムについて ・ その他	県総合福祉会館	13 人
24. 9. 3	介護支援専門員更新・再研修指導者会議	・ 指導担当割りの確認・調整について ・ 各プログラム講義担当者の決定 ・ ワークシート作成について ・ その他	県総合福祉会館	21 人
24. 12. 3	介護支援専門員実務研修指導者会議	・ 介護支援専門員更新・再研修からの引き継ぎ事項及びご意見について ・ 介護支援専門員実務研修の日程及び講師調整について ・ 介護支援専門員実務研修の指導内容について ・ その他	県総合福祉会館	30 人

15 はんどちゃん人づくり研修等事業の実施

(1) 茨城県はんどちゃん人づくり研修事業協議会及びワーキングチーム会議の開催

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 7. 4	茨城県はんどちゃん人づくり研ワーキングチーム会議	・ 平成 24 年度下半期研修企画・計画について ・ 研修テーマ・内容、研修指導講師候補について	県総合福祉会館	11 人
25. 3. 8	茨城県はんどちゃん人づくり研修事業協議会・研修ワーキングチーム合同会議	・ 平成 24 年度研修事業実施結果について ・ キャリアパス対応新研修体系について ・ 平成 25 年度研修事業の基本的考え方について ・ 平成 25 年度研修計画について ・ 当面の研修企画について	県総合福祉会館	11 人

(2) 研修事業

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 4. 25 5. 31 5. 10 ～11 5. 17 ～18 5. 23 ～24	社会福祉施設等新任職員研修	- 福祉サービスの理念・動向と新任職員への期待 - 新任職員の役割行動（理解促進討議法） - 職場生活の基本動作～マナーの大切さ - 組織活動の基本 - 自己啓発の基本	県総合福祉会館 筑波研修センター	448 人
24. 6. 5 ～ 6 6. 27 ～28 7. 25 ～26	カウンセリング研修 A・B・C	- カウンセリングとは何か - カウンセリング演習 - 援助的な聴き方の実際 - 人を援助する姿勢 - カウンセリングの基礎Ⅱ - 風通しの良いコミュニケーションのために	県総合福祉会館	165 人
24. 6. 12	接遇マナー研修	コミュニケーションスキルとしての接遇マナー	県総合福祉会館	254 人
24. 6. 18 ～19	アクティビティワー カー研修A・B	みんなが生き生きする遊びのいろいろ～遊び具を作って、楽しくふれあい遊び～うたって笑って、わらべうた遊び～	県総合福祉会館 県青少年会館	160 人
24. 7. 10 ～11	メンタルヘルスケア 研修	- 職場におけるメンタルヘルス対策～福祉介護職場に焦点を当てて - 今求められている、ヘルスカウンセリング実践とは	県総合福祉会館	87 人
24. 8. 1 ～ 2 8. 29 ～30	クレーム対応力強化 研修A・B	- クレームの基本的考え方 - クレーム対応の基本的スキル - クレーム対応の応用 - 職場における（クレーム対応の応用）体制の構築	県総合福祉会館	160 人
24. 8. 4	社会福祉施設等職員 安全運転研修～（特別 業務運転者研修）	- 安全運転の基本、運転適性検査等 - 安全運転に資する研修	安全運転中央研 修所	29 人
24. 8. 8 ～ 9	業務改善手法入門研 修	- 指導的職員の役割行動 - 部門組織活動の管理～組織活動における業務改善 - リーダーシップの基本	県総合福祉会館	76 人
24. 8. 21 ～22 10. 2 ～ 3	OJT 研修A・B	- OJTを考える - 変革時代のOJT - PDCAのマネジメントサイクル - 問題とは…問題意識を持つ - 交流分析について	県総合福祉会館	107 人
24. 8. 28	社会福祉施設等給食 担当職員研修	- 食品の衛生管理～経口からの食中毒・放射線の食物への影響 - 運動とバランスの取れた食事～サルコペニアの予防	県総合福祉会館	284 人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 9. 25	保育所保健担当職員研修	・ 気になる子どもを持つ保護者に対する支援 ・ 発達相談会	県総合福祉会館	167 人
24. 10. 23 ～24 11. 27 ～28	コーチングスキル研修A・B	・ 求められるマネジメントとは ・ コーチングとは ・ 部下の開発レベル SL II ・ コミュニケーションとは ・ 自己理解と他者理解 他	県総合福祉会館	133 人
24. 10. 30 ～31 25. 2. 6 ～ 7	リスクマネジメント研修A・B	・ リスクマネジメントとは ・ リスクの予測と評価 ・ 組織的にリスク管理を行うポイント ・ リスク対策会議演習 他	県青少年会館 県総合福祉会館	151 人
24. 11. 1 ～ 2	相談援助業務担当者研修	・ 相談援助に必要とされる技術とは ・ 相談援助の実際	県総合福祉会館	70 人
24. 11. 6	保育所保育士特別研修	・ 保育計画と3・4・5才児の指導計画の作成	県総合福祉会館	227 人
24. 12. 5	社会福祉法人指導職員研修	・ 福祉施設におけるサービス向上へのステップアップ～指導職員の果たす役割と価値	県総合福祉会館	129 人
25. 1. 18	福祉事業所人材育成セミナー	・ 採用・育成・定着の効果的すすめ方	県総合福祉会館	49 人
25. 1. 22 ～23	ファシリテーション研修	・ ファシリテーションの技法とすすめ方	県総合福祉会館	65 人
25. 1. 30 ～31	子育て支援担当者研修	・ 子育ての現状と子育て支援の必要性 ・ 地域子育て支援活動の実際 ・ 子育て支援プログラムの作成	県総合福祉会館	71 人
25. 2. 20	社会福祉施設等介護職員研修	・ 介護職場で継続して働きたくなる環境づくりを考えてみよう～私たちの専門職感の捉え方	県総合福祉会館	82 人
25. 2. 26	保育所保育士研修	・ あそび歌で頭も心もほぐしましょ♪ ・ ていねいなまなざしでみる乳幼児保育	県総合福祉会館	179 人
25. 3. 5	社会福祉施設看護師研修	・ 社会福祉施設におけるターミナルケア ・ 高次脳機能障害とリハビリテーション	県総合福祉会館	137 人
25. 3. 14	社会福祉法人管理・代表者研修	・ 福祉職場に求められるキャリアアッププランの構築について	県総合福祉会館	142 人

16 茨城わくわくセンター事業

（1）生きがいと健康づくりに関する事業の実施

実施時期	事業・会議名	事業概要(会議事項)	会 場	参加者
24. 4 ～ 25. 3	元気シニアバンク事業	元気シニアバンクに登録した「茨城シニアマスター」の利用仲介を行った。	県内全域	登録 143 利用 324
24. 4 ～ 25. 3	いばらきねんりんスポーツ（交流）大会	ねんりんピック全国大会の各競技種目の選手選考会を種目団体に助成し開催した。 選考会実施種目(9 種目)	水戸市総合運動公園 外	

実施時期	事業・会議名	事業概要(会議事項)	会 場	参加者
24. 4 ～ 25. 3	「セカンドライフ茨城」支援事業	「セカンドライフ茨城」支援事業運営委員会が実施するイベント（施設見学等）を支援した。	東京スカイツリーと明治神宮参拝の旅外	2,517 人
24. 6 ～ 25. 2	わくわく元気アップ講座開催事業	生きがいと健康づくりをテーマに講座（総合講座と選択講座（絵画造形、園芸）の組合せ）を開催した。年間 21 回	県総合福祉会館 外	68 人
24. 6 ～ 24. 12	わくわくニュースポーツ推進員養成講習会	県レクリエーション協会の協力を得て、11 種目のニュースポーツについて推進員を養成した。開催日数 20 日間	水戸市「堀原運動公園」	35 人 (修了者) 34 人
24. 7 ～ 25. 1	シルバーリハビリ体操普及講習会	関係市町村社会福祉協議会の協力を得て、県内 3 カ所で県立健康プラザ大田管理者による講習会を開催した。	かすみがうら市体育センター 外	約600人
24. 10. 12 ～ 16	全国健康福祉祭選手等派遣事業	第 25 回全国健康福祉祭宮城・仙台大会（10/13～10/16）へ、17 種目について本県選手団を派遣した。	総合開会式 仙台市陸上競技場	136 人
24. 11. 5	いばらきねんりんスポーツ大会	各市町村のチームを一堂に集めて、ねんりんピック全国大会の予選会を兼ねた大会を開催した。ゲートボール等 5 種目	笠松運動公園	約1,450 人
25. 2. 23 ～ 3. 1	いばらきねんりん文化祭開催事業	日本画、洋画、工芸、彫刻、書、写真の 6 部門の入選作品 725 点を展示するとともに、児童の描いたお年寄りの絵を募集し、入賞作品 40 点を表彰・展示した。 茨城シニアマスターによるミニコンサートも実施した。	県立県民文化センター	3,228 人 (入場者)

（２）生きがいと健康づくりに関する助成事業の実施

名 称	補助額	補助先	補助箇所数
「高齢者はつらつ百人委員会」活動事業費補助金	3,500,000 円	高齢者はつらつ百人委員会	5 地域委員会
ニュースポーツ体験教室開催助成金	300,000 円	NPO 法人わくわくニュースポーツクラブ	3 地域

（３）総合情報誌「わくわくライフいばらき」の発行

高齢者の生きがいと健康づくりに関する情報等を掲載した情報誌を年 4 回発行した。

- ア 発行日 6 月 25 日、9 月 25 日、12 月 25 日、3 月 25 日
- イ 発行部数 各 10,000 部
- ウ 配布先 関係団体、公民館、病院、理美容店、わくわくサポーター等

17 新・地域福祉活動推進プランの策定

（１）総合企画委員会の開催

- ア 開催日 9 月 27 日、3 月 22 日

（２）策定委員会の設置及び開催

専門的な評価及び計画策定を行うため、学識経験者、医療関係、市町村社協、社会福祉施設、地域福祉関係・団体、行政から構成する策定委員会を設置して、「新・地域福祉活動推進プラン」の策定についての検討。

- ア 開催日 11 月 9 日、3 月 21 日

（３）策定推進チーム、ワーキング・グループの設置及び開催

全職員の合意によりワーキング・グループを設置して、各班の共通認識を図りながら推進プランの策

定に関する調査・分析及び骨子(案)の策定。

ア 策定推進チームの開催 3回

イ ワーキング・グループの開催 39回(1班から4班の合計)

18 全国・関東ブロック会議への参加

(1) 本県当番県

実施時期	事業・会議名	事業概要(会議事項)	会 場	参加者
24. 8. 31	第21回関東ブロック 福祉人材センター・ バンク連絡協議会	・ 情勢報告 ・ 協議 (1) 各人材センター・バンクの効果的な取り組み (2) 中央福祉人材センターへの要望 (3) 各センター・バンク提案協議事項 (19項目)	東京都「全社協」	27人 本会から 5人
24. 9. 13 ～14	第17回関東ブロック ボランティア活動推 進連絡会議	・ 講演「社協職員に求める職員意識～民間企業の立場～」 ・ グループ討議「Change! ～魅力あるボランティアセンターへ～」 ・ 講演「ディズニーのホスピタリティ育成～笑顔と感謝の生まれる場所を創る～」	ホテルマークワ ンつくば研究学 園	53人 本会から 3人

(2) 会議への参加

実施時期	事業・会議名	事業概要(会議事項)	会 場	参加者
24. 4. 18 ～19	福祉人材情報シス テム研修	・ 福祉人材センター・バンクの業務と無料職業紹介事業 ・ 福祉人材情報システムの概要 ・ システムの操作について ・ 個人情報の取扱いとセキュリティ対策について	東京都「全社協」	本会から 1人
24. 4. 25 ～26	都道府県・指定都市 社協地域福祉担当 (課)・ボランティ ア・市民活動センタ ー所長会議	・ 行政説明 ・ 基調報告 ・ 全社協説明 ・ 全体協議	東京都「全社協」	本会から 2人
24. 5. 16 ～17	全国健康福祉祭担当 係長会議	・ ねんりんピック宮城・仙台 2012 について ・ ねんりんピックよさこい高知 2013 について ・ ねんりんピック栃木 2014 について ・ 総合開・閉会式会場等視察	宮城県「宮城県 庁」外	本会から 2人
24. 5. 18	全社協評議員会	・ 議事 (1) 第1号議案「平成23年度 事業報告について」 (2) 第2号議案「平成23年度 一般会計及び特別会計決算について」 (3) 第3号議案「理事及び監事の補充選任について」	東京都「全社協」	本会から 1人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 5. 30	都道府県・指定都市 社協 日常生活自立 支援事業所長会議	- 行政説明 - 基調説明 - 実践紹介 - グループ討議	東京都「全社協」	本会から 2人
24. 6. 4 ～ 5	福祉人材センター全 国連絡会議	- 平成 24 年度厚生労働における福祉人材確保・定着対策および福祉人材センター・バンク事業について - 近年の保育人材の動向と保育人材確保・定着対策について - 平成 24 年度福祉人材センター事業の取り組みの方向性について - 事例報告 - 福利厚生センター事業について	東京都「全社協」	本会から 2人
24. 6. 14 ～15	春季関ブロ都県・指 定都市社協組織・ボ ランティア業務担当 者研究協議会	- 全体会Ⅰ 「平成 23 年度秋季研究協議会報告」(新潟社協) 今後の本研究協議会の持ち方 施設研修のあり方 - 全体会Ⅱ 基調報告「社会福祉の動向と都県・指定都市社協の役割」(全社協) - 分科会Ⅰ・Ⅱ - 全体会Ⅲ「各分科会からの報告」	静岡県「静岡県 社会福祉会館シ ズウエル」	本会から 3人
24. 6. 29	関ブロ都県・指定都 市社協総務部課長会 議	協議 (1)新会計基準への移行について (2)新たな財源確保等について (3)社協の会員拡大のための方策について (4)効果的な職員(人材)育成の方法について	栃木県「宇都宮 ポートホテル」	本会から 1人
24. 7. 2 ～ 3	福祉人材センター職 員研修（業務・法令 理解編）	- 福祉人材センター・バンクの業務と役割について - 福祉人材センター・バンクの無料職業紹介事業のながれ - 求人・求職者対応の実際 - 福祉人材センター業務推進に必要な個人情報保護の理解 - 無料職業紹介の役割と業務に必要な労働法規等法令の理解 - 求人・求職者対応業務の留意点	東京都「全社協」	本会から 1人
24. 7. 5 ～ 6	第53回関東ブロック 保育研究大会	- 大会運営委員会 <大会> - 主題「すべての人が子どもと子育てに関わりを持つ社会の実現を目指して」 - 基調講演「いま、保育にもとめられているもの」 - 記念講演「わたしの絵本と自然とこども」 - 分科会意見発表 (4分科会)「地域の保護者支援の充実」	栃木県「あさや」 他	本会から 1人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 7. 11	第1回全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会総会	・ ブロック幹事交代報告 ・ 代表幹事の選任 ・ 全推連平成23年度事業報告・決算報告 ・ 24年度事業の実施状況 ・ 検討会 テーマ「今後の生きがい健康づくり事業のあり方について」	東京都「メルパルク東京」	本会から 2人
24. 7. 11	関ブロ都県・指定都市社協常務理事・事務局長会議	・ 情勢報告 (1) 税と政策動向 (2) 貧困・格差と社会福祉の課題・生活困窮者支援の検討状況 (3) 社協活動・事業の課題と取り組み (4) 東日本大震災への対応 ・ 協議 (1) 成年後見制度への取り組みについて (2) 職員採用に関する計画について (3) 社協の存在意義を高める事業や取り組みについて	千葉県「ホテルポートちば」	本会から 1人
24. 7. 14	福祉のしごと就職フェア・in ちばにおける相談コーナー設置	・ 「福祉のしごと就職フェア・in ちば」開催時の相談コーナー設置協力及び相談対応	千葉県「幕張メッセ」	本会から 2人
24. 7. 19 ～20	第49回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会	・ 基調説明「東日本大震災における社協活動と社協を取り巻く状況について」 ・ 分科会 ・ シンポジウム「その時社協はどうする!？」 ・ 記念講演「災害にも強い地域を目指して」～災害から復興支援そして平時を問い直す～	群馬県「源泉湯の宿 松乃井」	本会から 3人
24. 7. 22	「福祉の仕事就職フォーラム」における「関東ブロック県福祉人材センター相談コーナー」設置	・ 「福祉の仕事就職フォーラム」開催時の相談コーナーの設置協力及び相談対応	東京都「東京国際フォーラム」	本会から 2人
24. 7. 26 ～27	都道府県・指定都市社協常務理事・事務局長セミナー	・ 説明1「社会福祉協議会を取り巻く課題と今後の取り組みについて(東日本大震災被災地支援活動にかかる取り組み状況を含めて)」 ・ 説明2「政策動向等に関連した各部・所事業に係る説明」 ・ 分散会「社会福祉協議会の役割と今後の活動展開について」 ・ 講演「これからの社会福祉の課題と社会福祉の果たすべき役割」	神奈川県「ロフオス湘南」	本会から 1人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 8. 8 ～ 9	平成 24 年度全国福祉教育推進セミナー	・ 行政報告「社会的包摂に関連する施策について」「学校・家庭・地域との連携・協力について」 ・ 基調講演「福祉教育で変わる、福祉教育が変わる～誰も排除しない地域づくりのために～」 ・ 分科会「今の福祉教育、地域の課題に向き合っていますか～教室だけで終わらない福祉教育が地域を創る」 ・ シンポジウム「いのちを伝える～社会的包摂と福祉教育」「福祉教育はどこまで地域を変えられるのか」	東京都「全社協」	本会から 1 人
24. 9. 10 ～11	社会福祉トップセミナー	・ 講演Ⅰ「生活支援戦略と社会福祉関係者の責務」 ・ 講演Ⅱ「生活保護制度見直しの動向と課題」 ・ 実践報告「被災地における孤立、生活困窮の課題」 ・ シンポジウム「広がる孤立・生活困窮の実態と今後の課題」	東京都「全社協」	本会から 1 人
24. 9. 27 ～28	福祉人材センター・バンク基幹職員会議	・ 福祉人材センターの事業方針を考える ・ 福祉人材センターの 25 年度事業の展開を考える（中央の取組み、共同企画事業） ・ 業務上の課題について対応策を整理する	東京都「全社協」	本会から 1 人
24. 9. 29 ～10. 1	第 21 回全国ボランティアフェスティバルみえ	・ シンポジウム「三重からみえる 未来の絆」 ・ 分科会(全 4 テーマ 30 分科会) 生き活きささえ愛 まちづくり 災害 文化・国際 若者	三重県「総合文化センター」	本会から 3 人
24. 9. 30	ふれあい・いきいきサロン全国研究交流会	・ 基調報告「ふれあい・いきいきサロンで地域の絆の再構築～私のまちの居場所づくり～」 ・ シンポジウム「広げよう地域の絆・増やそう地域の笑顔～ふれあい・いきいきサロン～」	三重県「総合文化センター」	本会から 1 人
24. 10. 15 ～16	全国地域包括・在宅介護支援センター研究大会	・ 会長講演 青木佳之氏 ・ 行政説明 厚労省地域ケア推進官 ・ シンポジウム ・ 講義 厚労省 ・ 実践事例発表「地域包括・在宅介護支援センターの認知症高齢者への支援の実践について」	東京都「浅草ビューホテル」	本会から 1 人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 10. 19	関ブロ都県・指定都市社協会長会議	・ 情報交換 (1) 行政補助の削減等の状況について (2) 財源確保等について (3) 総合支援資金事業について (4) 福祉人材確保対策事業への取り組みについて (5) 災害時要援護者の対応について (6) 社会的孤立の防止等に向けた取り組みについて	静岡県「オークラアクトシティホテル浜松」	本会から 2人
24. 10. 21	福祉のしごと就職フェア・in ちばにおける相談コーナー設置	・ 「福祉のしごと就職フェア・in ちば」開催時の相談コーナー設置協力及び相談対応	千葉県「幕張メッセ」	本会から 1人
24. 11. 6 ～ 7	社協活動全国会議	・ 基調説明「社協・生活支援活動強化方針について」 ・ 行政説明「地域福祉をめぐる動向について」 ・ 講演「地域における生活困窮と社会的孤立」 ・ てい談「生活支援活動に取り組む社協の方向性」 ・ 分科会 1～3 ・ シンポジウム「生活支援活動の取り組みで社協はどう変わるのか」	東京都「ニーショール」外	本会から 3人
24. 11. 9	第 18 回介護労働シンポジウム	・ 魅力ある介護職場を目指して ・ 介護労働を魅力あるものに～介護人材の確保と質の向上を目指して～	東京都「日暮里サニーホール」	本会から 2人
24. 11. 21 ～22	秋季関ブロ都県・指定都市社協組織・ボランティア業務担当者研究協議会	・ 春季研究協議会報告 ・ 全社協説明「社協・生活支援活動強化方針」について ・ 報告「関東ブロック相互支援に関する協定に基づく幹事社協の活動状況の課題」 ・ 全体会Ⅰ 演習「首都圏直下型の地震を想定した都県・指定都市社協の対応」 ・ 分散会ⅠⅡ ・ 全体会Ⅱ「今後の持ち方について」	埼玉県「大宮ソニックシティ」	本会から 1人
25. 1. 6 ～ 8	平成 24 年度市区町村社協基幹職員研修会 コミュニティワーク研修会	・ 説明「社会福祉協議会をめぐる現状と課題」 ・ 講義演習Ⅰ「コミュニティワークと社協活動・事業」 ・ 講義演習Ⅱ「日常業務におけるコミュニティワークの学習－記録都事例検討法－」 ・ 演習Ⅲ「コミュニティワーク事例検討法」 ・ 講義Ⅳ「住民参加・協働の手法の実践」 ・ 演習Ⅴ「コミュニティワークの実践」	青森県「青森国際ホテル」	本会から 1人
25. 1. 12	第 6 回全国校区・小地域福祉活動サミット inKOBÉ・ひょうご	・ 基調講演「つながりひろく未来～社会の価値観に挑む～」 ・ シンポジウム「2つの大震災と地域の未来」 ・ 分科会 1～16	兵庫県「神戸国際展示場コンベンションホール」外	本会から 2人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
25. 1. 13	地域の福祉力セミナー	・ 基調講演「地域の福祉力と社会福祉協議会の役割」 ・ シンポジウム「地域住民を支えるために～地域福祉活動を広げるための視点や方法とは」	兵庫県「神戸国際会議場」	本会から 2人
25. 1. 25	都道府県・指定都市社協常務理事・事務局長会議	・ 説明 1「都道府県・指定都市社協をめぐる情勢と平成 25 年度全社協事業の重点について」 ・ 説明 2「重点事業の取り組み方針等について－各部・所長等説明」 ・ まとめ	東京都「全社協」	本会から 1人
25. 2. 5	全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会関東甲信越ブロック会議	・ ブロック協議意見交換 ・ 長寿社会開発センター連絡事項 ・ 次回開催当番県（新潟県）	神奈川県「かながわ県民センター」	本会から 2人
25. 2. 21	第2回全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会総会	・ 厚労省説明 ・ 全推連平成 25 年度事業計画・収支予算(案) ・ 全推連関係事業説明 ・ 第 26 回全国健康福祉祭こうち大会概要説明 ・ 長寿社会開発センター事業説明 ・ 検討会 テーマ「今後の生きがい健康づくり事業のあり方について～地域貢献につながる高齢者の人材養成とその活動支援について～」	東京都「ホテルモントレ半蔵門」	本会から 1人
25. 2. 27	福祉人材情報システム改修に係る新機能説明会	・ 新機能を追加した Cool システムの全体像 ・ お知らせ情報メール配信機能 ・ 求職者情報閲覧機能 ・ BI による統計	東京都「全社協」	本会から 2人
25. 3. 1	第8回権利擁護・虐待防止セミナー	・ 基調報告「成年後見のめざすもの」 ・ 実践報告「私の取り組みから考える。今後、地域社会に必要な成年後見の機能と体制」	東京都「全社協」	本会から 1人
25. 3. 7	全社協評議員会	・ 議事 (1) 第 1 号議案「平成 24 年度 第二次収支補正予算(案)について」 (2) 第 2 号議案「平成 25 年度 事業計画(案)について」 (3) 第 3 号議案「平成 25 年度 収支予算(案)について」 (4) 第 4 号議案「理事の補充選任について」 (5) 第 5 号議案「理事・監事・評議員選任規程の一部改正について」 (6) 第 6 号議案「組織規程の一部改正について」 (7) 第 7 号議案「委員会規程の一部改正について」	東京都「全社協」	本会から 1人

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
25. 3. 15	都道府県・指定都市 社協地域福祉担当部 課長会議	- 行政説明 - 基調報告 - グループ、全体協議	東京都「スタン ダード」	本会から 1 人

19 竜巻・突風への対応

（1）つくば市への支援

5 月 6 日に発生した竜巻・突風で被災したつくば市社協が災害ボランティアセンターを設置し、つくば市社協からのセンター運営支援要員の派遣要請により、「社会福祉協議会における災害時支援に関する協定」に基づき、県内市町村社協と協力した支援活動を行った。

5 月 9 日から 20 日までの 12 日間で延 91 人（県社協 24 人、市町村社協 67 人）の職員派遣を行い、ボランティア受付、保険加入手続き、活動ニーズの受付、ボランティアセンター業務への協力などを行った。

（2）助成事業の実施

全社協へボランティア保険の大規模災害特例適用を申請し、了承され、つくば市災害ボランティアセンターで加入されたボランティア保険加入費 459,480 円を全額負担した。

20 総合福祉会館の運営

（1）総合福祉会館の管理運営に関する業務

平成 23 年度から指定管理者の指定を受託したことにより、茨城県総合福祉会館の適正かつ効率的な管理運営に努めた。

① サービスの向上

ア 接客態度の向上

利用者が、より一層気持ち良く会館を利用できるよう窓口での対応や案内業務の際に、笑顔で誠意のこもった接客に努めた。

イ 利用者からのアンケート結果

会館内にアンケート箱を設置したところ、利用者から 19 件の回答が寄せられ、「非常に満足」と「やや満足」を併せると、69%の方々が満足であると回答していた。一方、「やや不満」・「不満」と回答した方が 2 件あった。

回答者数	非常に満足	やや満足	普通	やや不満	不満
19 人	11 (58%)	2 (11%)	4 (21%)	1 (5%)	1 (5%)

② 施設の利用率の向上

ア 総合福祉会館ホームページの更新

入居団体の紹介及び交通アクセスのレイアウト変更、施設予約システム（空き室等検索）掲載

イ 予約状況の確認及びキャンセルの防止

貸室予約の直前キャンセルを防止するため、コミュニティホールは使用日の 1 か月前に予約申込者との事前打ち合わせを行った。また、その他の会場についても、使用日の 10 日前に使用申請手続きの確認を行った。

ウ 夜間オープンスクール事業

ヨガ・空手・ダンスの 3 講座を開催した。

（健康増進を目的として、夜間時間帯のみ貸室を使用する団体）

エ 駐車場の確保

総合福祉会館の第2駐車場として85台分を確保し、駐車場の管理・運営に努めた。

③ 節電対策への取り組み

東日本大震災の影響による電力不足が懸念されたことから、節電対策を推進し、電力消費の節電に向けての取り組みを行った。

<夏季期間>

- ア 使用していない貸室やロビー、廊下等の消灯徹底
- イ 事務室等の照明の間引きや昼休み時の完全消灯
- ウ 冷房の設定温度を28度に設定
- エ 冷温水発生機の運転開始を1時間遅らせ、運転終了も原則1時間早めて停止
- オ 自動販売機管理者の協力のもと、自動販売機表示板を消灯した。

<冬季期間>

- ア 暖房中の室内温度は19度を目安とした
- イ その他の項目は夏季に準じる

④ 総合福祉会館入居団体等連絡会の開催

期 日	会 場	内 容	参加団体数
6月5日（火）	3階 多目的ホール	・施設利用状況等 ・節電対策 ・情報交換	24団体

⑤ 施設利用状況

ア 施設利用状況（年間利用可能日数359日）

	利用団体数（貸出件数）			貸出日数	利用人数		
	福祉	一般	計(回)			使用回数	稼働率 (%)
コミュニティホール	123	128	251	238	39,187	484	44.9
楽屋	129	122	251	238	3,050	458	42.5
大研修室	280	59	339	319	25,446	764	70.9
中研修室	218	163	381	319	14,903	700	65.0
小研修室A	194	266	460	349	9,640	819	76.0
小研修室B	186	252	438	343	4,073	792	73.5
多目的ホール	149	299	448	334	22,465	751	69.7
高齢者研修室	115	232	347	296	8,621	566	52.6
ギャラリー	61	119	180	180	17,426	180	50.1
その他					8,618		
合計	1,455	1,640	3,095	2,616	153,429	5,514	

イ 使用料徴収状況

(単位：円)

項 目	福 祉	一 般	合計額
施設使用料	3, 121, 080	11, 129, 120	14, 250, 200
設備使用料	2, 528, 590	4, 483, 590	7, 012, 180
合 計	5, 649, 670	15, 612, 710	21, 262, 380

⑥ 施設整備

ア 指定管理事業

(単位：円)

事業名	修理箇所等	執行額
裏玄関楽屋出口ドア修理	ドア腐食部分溶接修理	340, 200
空調機系統冷温水二方弁交換	3階空調二方弁・制御弁交換	262, 500
ブラインド交換	多目的ホール他	456, 750
役員室壁クロス貼替え、天井塗装工事	壁クロス貼替え、天井塗装	190, 050
会館東側U字溝補修工事	会館東側U字溝取替え補修	150, 150
非常用自家発電設備整備作業	会館地下非常用自家発電設備	134, 400
消火器液漏れ及び誘導灯バッテリー交換	消防設備点検不具合部分	101, 430
会館東側夜間入口壁面タイル補修	東側夜間入口壁面補修	190, 050
エレベーター非常用バッテリー交換	エレベーター屋上制御室	105, 000
車椅子等障害者駐車場整備	東側駐車場他	457, 747
椅子貼替え補修	ギャラリー椅子	121, 800
男子トイレフラッシュバルブ交換修理	1・2・3・4・5階	212, 000
空調機ダンパ交換	3階空調機系統	315, 000
空調機自動制御装置修理	2階研修部加湿器	183, 750
電話交換機設備改修工事	地下電話交換機等取替え	2, 467, 500
その他（10万円未満）工事	クーリングタワー配水管修理など	1, 043, 870
合 計		6, 732, 197

⑦ 防災訓練

茨城県総合福祉会館消防計画に基づいて、防火管理連絡会を設置した。また、自衛消防隊を編成して消防訓練を行った。

	期 日	内 容	参加者数
消防訓練	24. 9. 21	蘇生法（一次救命処置・AED操作）	35 人
防火管理連絡会	24. 12. 7	消防計画及び総合消防訓練について	14 団体
総合消防訓練	24. 12. 17	自衛消防隊を組織して、通報連絡・初期消火・避難誘導等の訓練	120 人

（２）施設および付属施設の維持管理に関する業務

次の17業務について委託契約を締結し、各業務の維持管理に努めた。

- ① 昇降機保守点検業務
- ② 建築・舞台諸設備日常運転保守管理
- ③ 一般廃棄物搬出処理業務
- ④ 消防設備保守点検業務
- ⑤ 人為警備及び駐車場管理業務
- ⑥ 自動ドア装置保守点検業務
- ⑦ 環境管理業務
- ⑧ 自家用電気工作物保安管理業務
- ⑨ 清掃作業業務
- ⑩ 電話交換機保守点検業務
- ⑪ 空調設備等保守点検業務
- ⑫ 舞台設備保守点検業務
- ⑬ 調光照明設備保守点検業務
- ⑭ 空調用自動制御機保守業務
- ⑮ 音響設備保守点検業務
- ⑯ 冷温水発生機用灯油業務
- ⑰ トイレ消臭剤及び除菌クリーナー設置業務

(3) イベントの開催

① 竜巻被害復興支援チャリティ・コンサート

期 日	内 容	出演者	入場者数
24. 8. 19	ハワイアン&歌謡コーラス モアナスターズ・コンサート	モアナスターズ コマキケイ フラ ハーラウ	296 名

② 県民サロンコンサートの実施

期 日	内 容	出演者	入場者数
24. 4. 12	ハワイアンバンド&フラ	ブルーレイズ & ナプナグループ	180 名
24. 5. 21	オカリナコンサート	野内敏子氏 他 10 名	120 名
24. 6. 19	ハーモニカ演奏	パルモニカ水戸 砂川ひろみ氏 他 13 名	150 名
24. 7. 3	琴を弾き歌う	ルネッサンス雅 岡村京子氏、真木英樹氏	150 名
24. 8. 23	ソプラノ・ピアノコンサート	内田陽子氏 山崎奈々氏、山崎由美子氏	89 名
24. 10. 19	ピアノ演奏	米川美葵子氏、岸田綾子氏	120 名
24. 11. 14	ピアノ・エレクトーン演奏	川又香奈子氏、渡辺奈緒子氏	100 名
24. 11. 22	合唱	水戸うらら合唱団 中澤敏子氏 他 27 名	150 名
25. 1. 22	トランペット	ココナッツ石井氏	100 名
25. 2. 15	ピアノ・フルート演奏	小野智恵氏、森万由美氏	100 名
25. 3. 15	ギター演奏	茨城町ギタークラブ マルバギター同好会	150 名

2 1 茨城県運営適正化委員会事業

(1) 委員会及び委員の構成

① 運営適正化委員会委員選考委員会 構成委員 6人 (敬称略)

構成委員の所属等	氏 名	属性 (提供者・利用者・公益の別)
常磐大学	松 村 直 道	公 益
茨城県民生委員児童委員協議会	高 木 彦 治	公 益
茨城県老人クラブ連合会	大久保 敏雄	利用者
茨城県手をつなぐ育成会	鈴木 金一郎	利用者
茨城県社会福祉施設経営者協議会	上 方 仁	提供者
水戸市社会福祉協議会	岩 上 堯	提供者

② 運営適正化委員会 構成委員 6人 (敬称略)

構成委員の所属等	氏 名	属性 (提供者・利用者・公益の別)
茨城県弁護士会	秋 山 安 夫	公 益 (法律)
茨城県潮来保健所	湊 孝 治	公 益 (医療)
茨城県社会福祉士会	竹之内 章代	公 益
つくば国際大学 (H24. 8. 23 まで)	飯 野 恵 城	公 益
流通経済大学 (H24. 8. 24 から)	村 田 典 子	
認知症のひとと家族の会茨城県支部	柏木 とき江	利用者
茨城県心身障害者福祉協会 (H24. 8. 23 まで)	住 田 福 祉	提供者
茨城県老人福祉施設協議会 (H24. 8. 24 から)	古 谷 博	

③ 運営適正化委員会 運営監視小委員会 構成委員 6人 (敬称略)

構成委員の所属等	氏 名	属性 (提供者・利用者・公益の別)
茨城県弁護士会	秋 山 安 夫	公 益 (法律)
茨城県潮来保健所	湊 孝 治	公 益 (医療)
茨城県社会福祉士会	竹之内 章代	公 益
つくば国際大学 (H24. 8. 23 まで)	飯 野 恵 城	公 益
流通経済大学 (H24. 8. 24 から)	村 田 典 子	
認知症のひとと家族の会茨城県支部	柏木 とき江	利用者
茨城県心身障害者福祉協会 (H24. 8. 23 まで)	住 田 福 祉	提供者
茨城県老人福祉施設協議会 (H24. 8. 24 から)	古 谷 博	

④ 運営適正化委員会 苦情解決小委員会 構成委員 4人 (敬称略)

構成委員の所属等	氏 名	属性 (提供者・利用者・公益の別)
茨城県弁護士会	秋 山 安 夫	公 益 (法律)
茨城県潮来保健所	湊 孝 治	公 益 (医療)
茨城県社会福祉士会	竹之内 章代	公 益
つくば国際大学 (H24. 8. 23 まで)	飯 野 恵 城	公 益
流通経済大学 (H24. 8. 24 から)	村 田 典 子	

(2) 事務局

事務長・係長・主事・専門員 各1人 計4人

(3) 会議・研修会の開催

① 運営適正化委員会

実施時期	会 議 事 項	会 場	参加者
24. 4. 27	・ 平成 23 年度福祉サービス苦情解決事業実績について報告	県総合福祉会館	5 人
24. 8. 24	・ 初会合	県総合福祉会館	6 人

② 運営適正化委員会 運営監視小委員会

実施時期	会 議 事 項	会 場	参加者
24. 4. 27	・ 日常生活自立支援事業実施状況報告 ・ 新規利用者及び契約解除の状況報告	県総合福祉会館	5 人
24. 6. 22	・ 日常生活自立支援事業実施状況報告 ・ 新規利用者及び契約解除の状況報告 ・ 契約締結審査状況報告	県総合福祉会館	5 人
24. 8. 24	・ 日常生活自立支援事業実施状況報告 ・ 新規利用者及び契約解除の状況報告 ・ 契約締結審査状況報告	県総合福祉会館	6 人
24. 11. 9	・ 日常生活自立支援事業実施状況報告 ・ 新規利用者及び契約解除の状況報告 ・ 契約締結審査状況報告	県総合福祉会館	6 人
24. 12. 21	・ 日常生活自立支援事業実施状況報告 ・ 新規利用者及び契約解除の状況報告	県総合福祉会館	6 人
25. 2. 22	・ 日常生活自立支援事業実施状況報告 ・ 新規利用者及び契約解除の状況報告 ・ 契約締結審査状況報告 ・ 平成 25 年度運営適正化委員会開催日程について	県総合福祉会館	5 人

③ 運営適正化委員会 運営監視小委員会

実施時期	会 議 事 項	会 場	参加者
24. 4. 27	・ 苦情相談事例の検討・報告	県総合福祉会館	4 人
24. 6. 22	・ 苦情相談事例の検討・報告	県総合福祉会館	4 人
24. 8. 24	・ 苦情相談事例の検討・報告	県総合福祉会館	4 人
24. 11. 9	・ 苦情相談事例の検討・報告	県総合福祉会館	4 人
24. 12. 21	・ 苦情相談事例の検討・報告	県総合福祉会館	4 人
25. 2. 18	・ 苦情相談事例の検討・報告	県総合福祉会館	4 人

④ その他の会議・研修会

実施時期	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会 場	参加者
24. 7. 6	運営適正化委員会事業研究協議会	- 行政説明 厚生労働省・社会援護局 - 報告 全国社会福祉協議会政策企画部 - 意見交換	東京都「全社協」	本会から 2 人
24. 9. 21	関東甲信越静ブロック運営適正化委員会委員長等連絡会、相談員等連絡会	- 協議 ①障害者虐待防止法における運営委員会の役割について ②運営適正化委員会が進める相談活動のサービス水準確保のための取り組み事例について ③「苦情申出人や利用者に虐待や法律違反等明らかに改善を要する重大な不当行為が行われていると認められ都道府県知事に通知する事案」に該当するかどうか迷ったような事例について - 情報交換 ①選考委員会にかかる事務について ②福祉サービス利用援助事業の運営監視の実施の枠組みについて ③施設に入所している利用者との面会について	東京都「飯田橋セントラルプラザ」	本会から 3 人
25. 2. 22	運営適正化委員会連絡会議	- 運営適正化委員会の役割について - 運営適正化委員会における苦情受付・解決状況について - 運営適正化委員会に寄せられる苦情について - 意見交換	県総合福祉会館	本会から 9 人
25. 3. 22	福祉サービス苦情解決研修会	- 講演 「障害がある人たちの権利擁護と虐待防止について」 - 講師：茨城県社会福祉士会 会長 竹之内 章代 氏	県立県民文化センター	504 人

（４）広報・啓発事業

① ポスターの配布

広報・啓発用ポスター

県内の各社会福祉施設、各市町村社協等へ随時配布

② パンフレットの配布

広報・啓発用パンフレット

県内の各社会福祉施設、各市町村社協等へ随時配布

③ 資料の配布

「第三者委員の役割と活動」

県内の各社会福祉施設、各市町村社協等へ随時配布

④ 新聞広告

茨城新聞（平成 25 年 1 月 4 日発行）に掲載

⑤ 広報誌への掲載等 いばらきの社会福祉 第 286 号（平成 24 年 6 月 15 日発行）

第 288 号（平成 24 年 12 月 15 日発行）

その他第 287 号（平成 24 年 9 月 15 日発行）の折込チラシに掲載

(5) 研修事業

福祉サービス苦情解決研修会

会 場：県立県民文化センター

開催日：平成 25 年 3 月 22 日（金）

参加者：社会福祉施設経営者、福祉サービス提供事業所代表者（苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員）504 人

内 容：講演「障害がある人たちの権利擁護と虐待防止について」

講師：茨城県社会福祉士会 会長 竹之内 章代 氏

(6) 巡回指導事業

県内の福祉サービス事業所を訪問して、次のことを行った。

- ① 事業所における苦情解決事業の取り組み状況と第三者委員の設置状況の把握
- ② 苦情解決事業に関する協議
- ③ 苦情解決事業に関する関係資料集を持参して、苦情解決体制の設置がされていない事業所には、施設等の最低基準を説明して設置を働きかけた。
- ④ 運営適正化委員会の周知

巡回指導実績

10 月：児童 2 件

11 月：老人 1 件

(7) 福祉サービス利用援助事業実施状況調査事業

県内福祉サービス利用援助事業を実施している基幹的社協に対し、事業実施状況の調査を実施した。

訪問調査 東海村社協、常陸太田市社協、日立市社協、北茨城市社協、高萩市社協、つくばみらい市社協、つくば市社協、阿見町社協、美浦村社協、石岡市社協、かすみがうら市社協

書面調査 水戸市社協外 43 市町村社協

(8) 調査研究活動

「福祉サービス苦情解決事業実績報告書」の作成及び配布

報告書 500 部作成

県内の各社会福祉施設、各市町村社協、茨城県及び市町村等へ配布

(9) 受理した苦情案件の概要

① 受理した苦情の件数等

受付件数（月別、受付方法別）

*「その他」は、問い合わせ・相談等、苦情に至らなかった件数

	受 付 方 法							
	来 所		書面・電話等		その他		計	
	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他
4月	1		3	3			4	3
5月			4	2			4	2
6月			5	4			5	4
7月			5	2			5	2
8月	2		6	1			8	1
9月		1	4	3			4	4
10月	1		3				4	0
11月			5	1			5	1
12月	1		5	1			6	1
1月			3	2			3	2
2月	1		2	3			3	3
3月			7	3			7	3
合 計	6	1	52	25	0	0	58	26

種別・苦情申出人の属性

	利用者		家族		代理人		職員		その他		計	
	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他
老 人	4		16		1		9	1	1		31	1
障害者	7	3	7				2	2		2	16	7
児 童 (保育含む)			1								1	0
その他	7	11	2	3				1	1	3	10	18
合 計	18	14	26	3	1	0	11	4	2	5	58	26

② 申出の要旨、対応結果等

苦情の相手先	区 分	苦情受付件数	苦 情 解 決 の 結 果							その他、 問い合わせ等
			苦 情 解 決 の 結 果							
			助 相 言 談	伝 紹 達 介	せ あ ん っ	通 知	そ の 他	継 続 中	要 意 望 見	
老 人	①サービス内容（職員の接遇）	9	5	2			1	1		
	②サービス内容（サービスの質や量）	5	2	2				1		
	③利用料									
	④説明・情報提供	5	4	1						
	⑤被害・損害	6	4	2						
	⑥権利侵害	4	2	1		1				
	⑦その他	2	1				1		1	

苦情の相手先	区 分	苦情受付件数	苦 情							その他、 問合わせ等
			苦 情 解 決 の 結 果							
			助 相 言 談	伝 紹 達 介	せ あ ん っ	通 知	そ の 他	継 続 中	要 意 望 見	
障 害 者	①サービス内容（職員の接遇）	8	7	1						
	②サービス内容（サービスの質や量）	1	1							
	③利用料									
	④説明・情報提供	3	2						1	
	⑤被害・損害	1	1							
	⑥権利侵害	2		1				1		
	⑦その他	1	1							7
児 童 （保育含む）	①サービス内容（職員の接遇）									
	②サービス内容（サービスの質や量）									
	③利用料									
	④説明・情報提供									
	⑤被害・損害									
	⑥権利侵害	1					1			
	⑦その他									
そ の 他	①サービス内容（職員の接遇）	8	2	5	1					1
	②サービス内容（サービスの質や量）									
	③利用料									
	④説明・情報提供	2		1			1			2
	⑤被害・損害									
	⑥権利侵害									
	⑦その他									15
合 計	①サービス内容（職員の接遇）	25	14	8	1		1	1		1
	②サービス内容（サービスの質や量）	6	3	2				1		
	③利用料									
	④説明・情報提供	10	6	2			1		1	2
	⑤被害・損害	7	5	2						
	⑥権利侵害	7	2	2		1	1	1		
	⑦その他	3	2				1			23
合 計		58	32	16	1	1	4	3		26